

ASRock®



H270 PRO4

ユーザーマニュアル

バージョン 1.1

2017 年 10 月発行

Copyright©2017 ASRock INC. 無断複写・転載を禁じます。

著作権について：

当文書のいかなる部分も、ASRock の書面による同意なしに、バックアップを目的とした購入者による文書のコピーを除いては、いかなる形式や方法によっても、複写、転載、送信、または任意の言語へ翻訳することは禁じます。

当文書に記載されている製品名および企業名は、それぞれの企業の登録商標または著作物であることもあり、権利を侵害する意図なく、ユーザーの便宜を図って特定または説明のためにのみ使用されます。

免責事項：

当文書に記載されている仕様および情報は、情報提供のみを目的として付属されており、予告なく変更する場合があります。その整合性や正確性について、ASRock がなんらの確約をするものではありません。ASRock は、当文書での誤記や記載漏れについて一切の責任を負いかねます。

本文書の内容について、ASRock は、明示または黙示にも、黙示の保証、商品性の条件、または特定の目的への適合性を含め、かつそれらに限定されず、いかなる種類の保証もいたしません。

いかなる状況においても、たとえ ASRock が当文書や製品の欠陥や誤りに起因する損害の可能性を事前に知らされていたとしても、ASRock、取締役、役員、従業員、または代理人は、いかなる間接的、専門的、偶発的、または必然的な損害(利益の損失、事業の損失、データの損失、事業の中断などを含む)への責任を負いかねます。



この装置は、FCC 規則のパート 15 に準拠しています。操作は以下の 2 つの条件に従います：

- (1) 本装置は有害な干渉を発生しない。および
- (2) この機器は、望ましくない作動を引き起こす可能性のある干渉を含め、あらゆる干渉を受け入れなければなりません。

米国カリフォルニア州のみ

このマザーボードに採用されたリチウム電池は、カリフォルニア州議会で可決されたベストマネジメントプラクティス(BMP)で規制される有害物質、過塩素酸塩を含んでいます。米国カリフォルニア州でリチウム電池を廃棄する場合は、関連する規制に従って行ってください。

「過塩素酸塩物質 - 特別な処理が適用される場合があります。詳しくは、www.dtsc.ca.gov/hazardouswaste/perchlorate をご覧ください」

ASRock ウェブサイト：<http://www.asrock.com>

オーストラリアのみ

弊社の製品にはオーストラリア消費者法の下で除外できない保証が付いています。購入者は、重大な故障に対しては交換または返金、および、その他の合理的に予見可能な損失または損害に対しては補償を受ける権利を有します。また、製品が許容できる品質を満たさない場合、または、故障が重大な故障にあたらな場合は、購入者は製品を修理または交換する権利を有します。ご不明な点がございましたら ASRock までお問い合わせください：電話番号 +886-2-28965588 内線 123 (標準的な国際通話料金が適用されます)

HDMI[™] および HDMI 高解像度マルチメディアインターフェース、ならびに HDMI のロゴは、米国およびその他の国における HDMI Licensing LLC の商標または登録商標です。



内容

第1章 はじめに	1
1.1 パッケージの内容	1
1.2 仕様	2
1.3 マザーボードのレイアウト	7
1.4 I/O パネル	9
第2章 取り付け	11
2.1 CPU を取り付け	12
2.2 CPU ファンとヒートシンクを取り付ける	15
2.3 メモリモジュール (DIMM) を取り付け	16
2.4 前面パネルヘッダーを接続する	18
2.5 I/O パネルシールドを取り付ける	19
2.6 マザーボードを取り付ける	20
2.7 SATA ドライブを取り付ける	21
2.8 グラフィックスカードを取り付ける	23
2.9 周辺機器を接続する	25
2.10 電源コネクタを接続する	26
2.11 電源オン	27
2.12 ジャンパー設定	28
2.13 オンボードのヘッダーとコネクタ	29
2.14 CrossFireX™ と Quad CrossFireX™ オペレーションガイド	38
2.14.1 2 枚の CrossFireX™ 対応グラフィックスカードを 取り付ける	38
2.14.2 ドライバのインストールとセットアップ	40
2.15 M.2_SSD (NGFF) モジュール取り付けガイド	41

第 3 章 ソフトウェアとユーティリティの操作	44
3.1 ドライバを取り付ける	44
3.2 A-Tuning	45
3.2.1 A-Tuning をインストールする	45
3.2.2 A-Tuning を使用する	45
3.3 ASRock Live Update & APP Shop (ASRock ライブ更新と APP ショップ)	50
3.3.1 UI 概要	50
3.3.2 Apps (アプリ)	51
3.3.3 BIOS & Drivers (BIOS とドライバ)	54
3.3.4 設定	55
第 4 章 UEFI セットアップユーティリティ	56
4.1 はじめに	56
4.2 EZ Mode (EZ モード)	57
4.3 Advanced Mode (アドバンスドモード)	58
4.3.1 UEFI メニューバー	58
4.3.2 ナビゲーションキー	59
4.4 Main (メイン) 画面	60
4.5 OC Tweaker (OC 調整) 画面	61
4.6 Advanced (詳細) 画面	70
4.6.1 CPU Configuration (CPU 設定)	71
4.6.2 Chipset Configuration (チップセット設定)	73
4.6.3 Storage Configuration (ストレージ設定)	76
4.6.4 Intel® Thunderbolt	77
4.6.5 Super IO Configuration (スーパー IO 設定)	78
4.6.6 ACPI Configuration (ACPI 設定)	79
4.6.7 USB Configuration (USB 設定)	81
4.6.8 Trusted Computing (トラステッド・コンピューティング)	82

4.7 Tools (ツール)	83
4.8 Hardware Health Event Monitoring (ハードウェア ヘルス イベント監視) 画面	86
4.9 Security (セキュリティ) 画面	90
4.10 Boot (ブート) 画面	91
4.11 Exit (終了) 画面	94

第1章 はじめに

ASRock H270 Pro4 マザーボードをお買い上げ頂きありがとうございます。ASRock の製品は一貫した厳格な品質管理の下で製造されており、優れた品質と耐久性を兼ね備えつつ、優れたパフォーマンスを提供致します。

この文書の第1章と第2章には、マザーボードの説明とステップ毎のインストールガイドが記載されています。第3章には、ソフトウェアとユーティリティの操作ガイドが含まれています。第4章には、BIOS セットアップの設定ガイドが含まれています。



マザーボードの仕様と BIOS ソフトウェアは更新されることがあるため、このマニュアルの内容は予告なしに変更することがあります。このマニュアルの内容に変更があった場合には、更新されたバージョンは、予告なく ASRock のウェブサイトから入手できるようになります。このマザーボードに関する技術的なサポートが必要な場合には、ご使用のモデルについての詳細情報を、当社のウェブサイトで参照ください。ASRock のウェブサイトでは、最新の VGA カードおよび CPU サポート一覧もご覧になれます。ASRock ウェブサイト <http://www.asrock.com>

1.1 パッケージの内容

- ASRock H270 Pro4 マザーボード(ATX フォームファクタ)
- ASRock H270 Pro4 クイックインストールガイド
- ASRock H270 Pro4 サポート DVD
- 2 x シリアル ATA (SATA) データケーブル(オプション)
- 1 x I/O パネルシールド
- 3 x M.2 ソケット用ねじ (オプション)

1.2 仕様

プラットフォーム

- ATX フォームファクター

CPU

- 第7世代および第6世代 Intel® Core™ i7/i5/i3/Pentium®/Celeron® プロセッサに対応(ソケット 1151)
- Digi Power design
- 8 電源フェーズ設計
- Intel® ターボブースト 2.0 テクノロジーをサポート

チップセット

- Intel® H270

メモリ

- デュアルチャンネル DDR4 メモリテクノロジー
- 4 x DDR4 DIMM スロット
- DDR4 2400/2133 ノン ECC、アンバッファードメモリに対応 *
- * 第7世代 Intel® CPU は最大 2400 までの DDR4 に対応します。第6世代 Intel® CPU は最大 2133 までの DDR4 に対応します。
- ECC UDIMM メモリモジュールに対応(non-ECC モードで動作)
- システムメモリの最大容量: 64GB
- Intel® エクストリームメモリプロファイル(XMP)2.0 に対応
- DIMM スロットに 15 μ ゴールドコンタクトを採用

拡張スロット

- 2 x PCI Express 3.0 x16 スロット(PCIe2:x16 モード、PCIe4:x4 モード)*
- * 起動ディスクとして NVMe SSD に対応
- * PCIe5 スロットまたは PCI スロットが使用されている場合は、PCIe4 スロットは 2 倍モードで動作します。
- 3 x PCI Express 3.0 x1 スロット (Flexible PCIe)
- 1 x PCI スロット
- AMD Quad CrossFireX™ と CrossFireX™ をサポート
- 1 x M.2 ソケット (キー E)、タイプ 2230 WiFi/BT モジュールに対応

グラフィックス

- Intel®HD グラフィックス内蔵ビジュアルおよび VGA 出力は、GPU に統合されたプロセッサのみでサポートされます。
 - Intel®HD グラフィックス内蔵ビジュアルをサポート: AVC、MVC (S3D) および MPEG-2 Full HW Encode1 が装備された Intel® クイック・シンク・ビデオ、Intel® InTru™ 3D、Intel® クリアー・ビデオ HD テクノロジー、Intel® Insider™、Intel® HD グラフィックス
 - Gen9 LP、DX11.3、DX12
 - HWA エンコード / デコード: VP8、HEVC 8b、VP9、HEVC 10b(第7世代 Intel® CPU 向け)
 - HWA エンコード / デコード: VP8、HEVC 8b、GPU/SW エンコード / デコード: VP9、HEVC 10b(第6世代 Intel® CPU 向け)
 - 最大共有メモリ 1,024MB
- * 最大共有メモリのサイズはオペレーティングシステムによって異なることがあります。
- 3つのグラフィックス出力オプション: D-Sub、DVI-D、HDMI
 - 3台のモニターに対応
 - HDMI に対応、最大解像度 4K x 2K (4096x2160) @ 24Hz / (3840x2160) @ 30Hz
 - DVI-D をサポート。最大解像度 1920x1200 @60Hz
 - D-Sub をサポート。最大解像度 1920x1200 @60Hz
 - HDMI ポートで、オートリップシンク、ディープカラー(12bpc)、xvYCC、および、HBR(高ビットレートオーディオ)に対応 (HDMI 対応モニターが必要です)
 - DVI-D ポートと HDMI ポートで HDCP に対応
 - DVI-D ポートと HDMI ポートで Full HD 1080p Blu-ray (BD) 再生に対応

オーディオ

- 7.1 CH HD オーディオ、コンテンツプロテクション付き(Realtek ALC892 オーディオコーデック)
- *7.1 CH HD オーディオを設定するためには、HD フロントパネルのオーディオモジュールを使用し、オーディオドライバを通してマルチチャンネルオーディオ機能を有効にする必要があります。
- プレミアム・ブルーレイ・オーディオ・サポート
 - サージ保護に対応(ASRock 完全スパイク保護)
 - ELNA 製オーディオコンデンサ

LAN

- ギガビット LAN 10/100/1000 Mb/s
- ギガ PHY Intel® I219V
- Wake-On-LAN(ウェイク オン ラン)に対応
- 雷 / 静電気放電 (ESD) 保護に対応 (ASRock 完全スパイク保護)
- エネルギー効率のよいイーサネット 802.3az をサポート
- PXE をサポート

リアパネル I/O

- 2 x アンテナポート
- 1 x PS/2 マウス / キーボードポート
- 1 x D-Sub ポート
- 1 x DVI-D ポート
- 1 x HDMI ポート
- 5 x USB 3.0 Type-A ポート (静電気放電 (ESD) 保護に対応 (ASRock 完全スパイク保護))
- 1 x USB 3.0 Type-C ポート (静電気放電 (ESD) 保護に対応 (ASRock 完全スパイク保護))
- LED 付き 1 x RJ-45 LAN ポート (ACT/LINK LED と SPEED LED)
- HD オーディオジャック: ラインイン / フロントスピーカー / マイク

ストレージ

- 6 x SATA3 6.0 Gb/s コネクタ, RAID (RAID 0, RAID 1, RAID 5, RAID 10, Intel ラピッド・ストレージ・テクノロジー 15 および Intel スマート・レスポンステクノロジー)、NCQ、AHCI、および、ホットプラグ機能に対応 *

* SATA タイプ M.2 デバイスで M2_1 を使用している場合は、SATA3_5 は無効になります。

* SATA タイプ M.2 デバイスで M2_2 を使用している場合は、SATA3_0 は無効になります。

- 1 x ウルトラ M.2 ソケット (M2_1)、タイプ 2230/2242/2260/2280 M.2 SATA3 6.0 Gb/s モジュールと最大 Gen3 x4 (32 Gb/s) までの M.2 PCI Express モジュールに対応 **
- 1 x ウルトラ M.2 ソケット (M2_2)、タイプ 2230/2242/2260/2280 M.2 SATA3 6.0 Gb/s モジュールと最大 Gen3 x4 (32 Gb/s) までの M.2 PCI Express モジュールに対応 **

** Intel® Optane™ テクノロジーに対応

** 起動ディスクとして NVMe SSD に対応

** ASRock U.2 キットに対応

コネクタ

- 1 x COM ポートヘッダー
- 1 x TPM ヘッダー
- 1 x シャーシイントルージョンヘッダー
- 1 x 電源 LED とスピーカーヘッダー
- 1 x CPU ファンコネクタ (4 ピン)

* CPU ファンコネクタは最大 1A (12W) の電力の CPU ファンに対応します。

- 2 x シャーシファンコネクタ (4 ピン) (スマートファン速度制御)
- 1 x シャーシ (オプション) / ウォーターポンプファンコネクタ (4 ピン) (スマートファン速度制御)

* シャーシ (オプション) / ウォーターポンプファンは最大 1.5A (18W) の出力のウォータークーラーに対応します。

* CHA_FAN2 は 3 ピンまたは 4 ピンファンが使用されているかどうかを自動検出できます。

- 1 x 24 ピン ATX 電源コネクタ
- 1 x 8 ピン 12V 電源コネクタ
- 1 x 前面パネルオーディオコネクタ
- 1 x Thunderbolt AIC コネクタ (5 ピン)
- 1 x Thunderbolt AIC コネクタ (10 ピン)

* 1 つの Thunderbolt AIC カードのみをサポートします。

- 3 x USB 2.0 ヘッダー (5 個の USB 2.0 ポートに対応) (静電気放電 (ESD) 保護に対応 (ASRock 完全スパイク保護))
- 1 x USB 3.0 ヘッダー (2 個の USB 3.0 ポートに対応) (静電気放電 (ESD) 保護に対応 (ASRock 完全スパイク保護))

BIOS 機能

- AMI UEFI Legal BIOS、多言語 GUI サポート付き
- ACPI 6.0 準拠ウェイクアップイベント
- SMBIOS 2.7 サポート
- CPU、GT_CPU、DRAM、VPP、PCH 1.0V、VCCIO、VCCST、VCCSA、VCCPLL 電圧マルチ調整

ハードウェアモニタリング

- CPU / シャーシ / シャーシ (オプション) / ウォーターポンプ温度検出
- CPU / シャーシ / シャーシ (オプション) / ウォーターポンプファンタコメーター
- CPU / シャーシ / シャーシ (オプション) / ウォーターポンプ静音ファン (CPU 温度に合わせてシャーシファン速度を自動調整)

- CPU / シャーシ / シャーシ(オプション) / ウォーターポンプファンマルチ速度制御
- ケース開閉検知
- 電圧監視: +12V、+5V、+3.3V、CPU Vcore、DRAM、VPP、PCH 1.0V、VCCIO、VCCSA、VCCST

OS

- Microsoft® Windows® 10 64-bit(第7世代 Intel® CPU 向け)
 - Microsoft® Windows® 10 64-bit / 8.1 64-bit / 7 32-bit / 7 64-bit(第6世代 Intel® CPU 向け)
- * 更新された Windows® 10 ドライバについては、ASRock のウェブサイトの詳細をご確認ください: <http://www.asrock.com>

認証

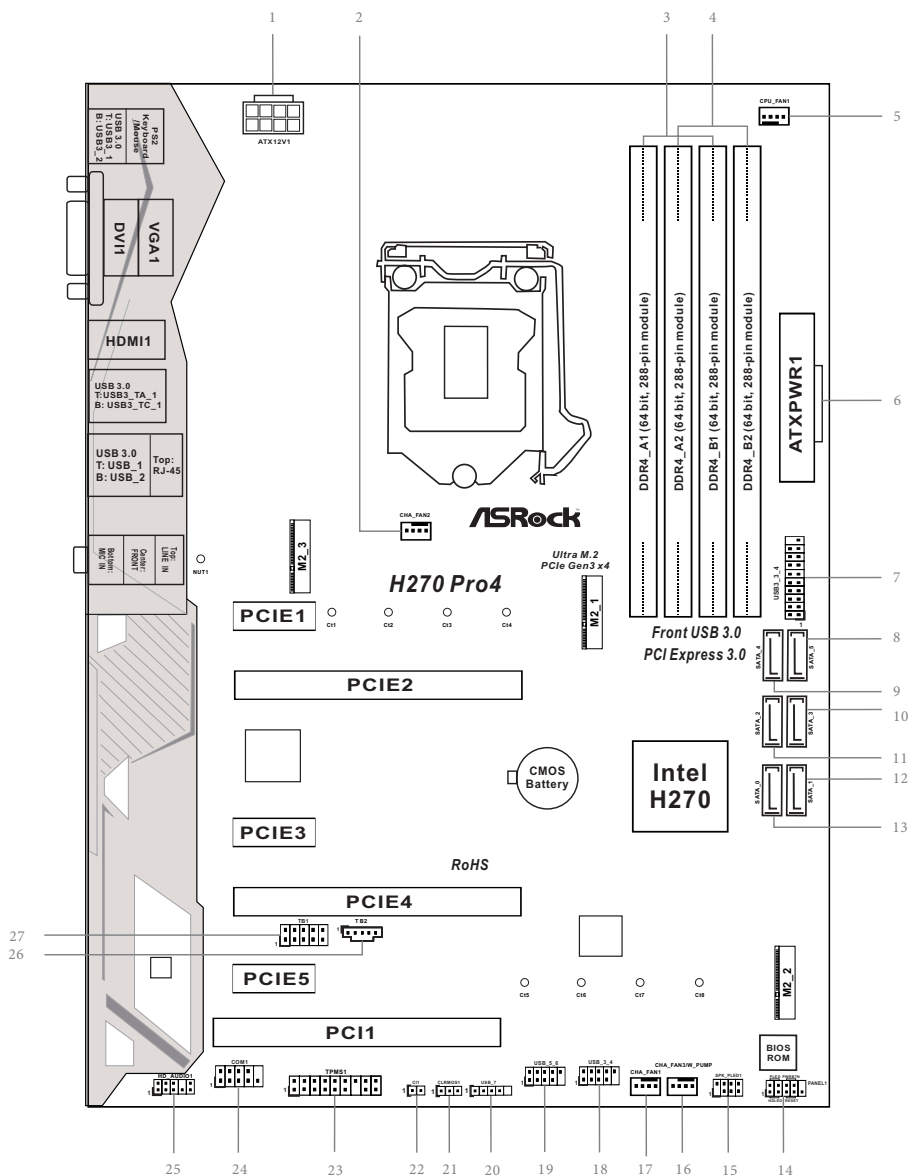
- FCC、CE、WHQL、RCM、BSMI
- ErP/EuP Ready(ErP/EuP 対応電源供給装置が必要です)

* 商品詳細については、当社ウェブサイトをご覧ください。<http://www.asrock.com>



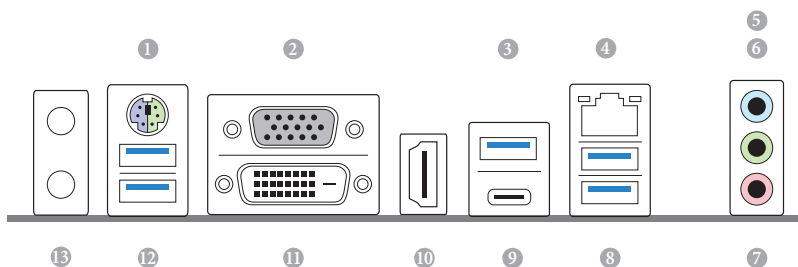
BIOS 設定の調整、アンタイドオーバークロックテクノロジーの適用、サードパーティのオーバークロックツールの使用などを含む、オーバークロックには、一定のリスクを伴いますのでご注意ください。オーバークロックするとシステムが不安定になったり、システムのコンポーネントやデバイスが破損することがあります。ご自分の責任で行ってください。弊社では、オーバークロックによる破損の責任は負いかねますのでご了承ください。

1.3 マザーボードのレイアウト



番号	説明
1	ATX 12V 電源コネクタ(ATX12V1)
2	シャーシファンコネクタ(CHA_FAN2)
3	2 x 288 ピン DDR4 DIMM スロット(DDR4_A1、DDR4_B1)
4	2 x 288 ピン DDR4 DIMM スロット(DDR4_A2、DDR4_B2)
5	CPU ファンコネクタ(CPU_FAN1)
6	ATX 電源コネクタ(ATXPWR1)
7	USB 3.0 ヘッダー(USB3_3_4)
8	SATA3 コネクタ(SATA3_5)
9	SATA3 コネクタ(SATA3_4)
10	SATA3 コネクタ(SATA3_3)
11	SATA3 コネクタ(SATA3_2)
12	SATA3 コネクタ(SATA3_1)
13	SATA3 コネクタ(SATA3_0)
14	システムパネルヘッダー(PANEL1)
15	電源 LED とスピーカーヘッダー (SPK_PLED1)
16	シャーシファン / ウォーターポンプファンコネクタ (CHA_FAN3/W_PUMP)
17	シャーシファンコネクタ(CHA_FAN1)
18	USB 2.0 ヘッダー(USB_3_4)
19	USB 2.0 ヘッダー(USB_5_6)
20	USB 2.0 ヘッダー(USB_7)
21	クリア CMOS ジャンパー(CLRMOS1)
22	シャーシイントリュージョンヘッダー(CI1)
23	TPM ヘッダー(TPMS1)
24	COM ポートヘッダー(COM1)
25	フロントパネルオーディオヘッダー(HD_AUDIO1)
26	Thunderbolt AIC コネクタ(TB2)
27	Thunderbolt AIC ヘッダー(TB1)

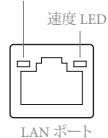
1.4 I/O パネル



番号	説明	番号	説明
1	PS/2 マウス / キーボードポート	8	USB 3.0 ポート(USB3_1_2)
2	D-Sub ポート	9	USB 3.0 Type-C ポート(USB3_TC_1)
3	USB 3.0 ポート(USB3_TA_1)	10	HDMI ポート
4	LAN RJ-45 ポート *	11	DVI-D ポート
5	ライン入力(明るい青色)**	12	USB 3.0 ポート(USB3_1_2)
6	フロントスピーカー(ライム色)**	13	アンテナポート
7	マイクロフォン(ピンク色)**		

* 各 LAN ポートにそれぞれ 2 つの LED があります。LAN ポートの LED 表示については下の表を参照してください。

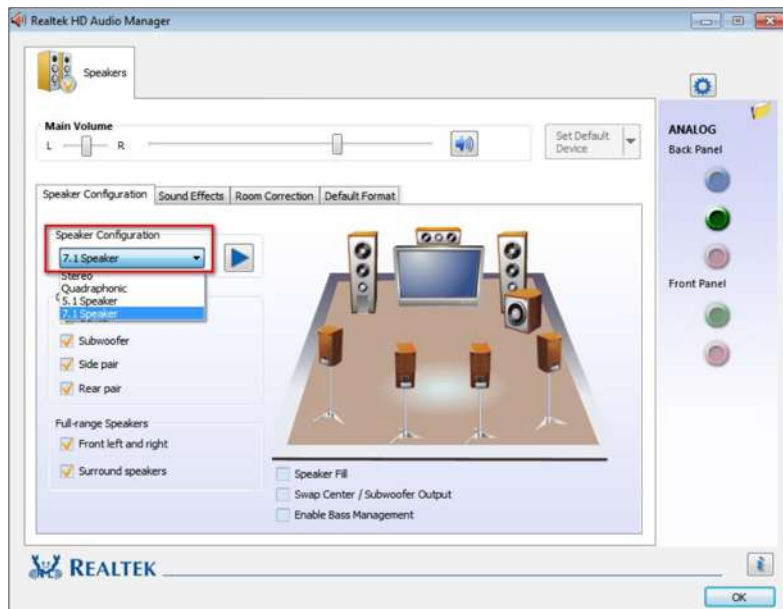
アクティビティ/リンク LED



アクティビティ/リンク LED		速度 LED	
状態	説明	状態	説明
消灯	リンクなし	消灯	10Mbps 接続
点滅	データアクティビティ	オレンジ色	100Mbps 接続
点灯	リンク	緑色	1Gbps 接続

**7.1 CH HD オーディオを設定するためには、HD フロントパネルのオーディオモジュールを使用し、オーディオドライバを通してマルチチャンネルオーディオ機能を有効にする必要があります。

Realtek HD オーディオマネージャでスピーカー設定を「7.1 Speaker」に設定してください。



7.1 チャンネル設定のオーディオポートの機能:

ポート	機能
明るい青色(リアパネル)	リアスピーカー出力
ライム色(リアパネル)	フロントスピーカー出力
ピンク色(リアパネル)	セントラル / サブウーファースピーカー出力
ライム色(フロントパネル)	サイドスピーカー出力

第2章 取り付け

これは ATX フォームファクタのマザーボードです。マザーボードを取付ける前に、ケースに取付できるフォームファクター(サイズ)を確認し、マザーボードを取り付けることができることを確認してください。

取り付け前の注意事項

マザーボードコンポーネントを取り付けたり、マザーボードの設定を変更する前に、次の注意事項をよくお読みください。

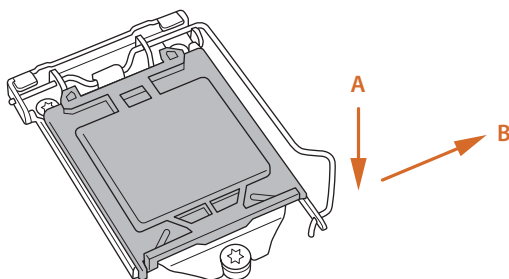
- マザーボードを設置 / 取り外しをする場合は、必ず電源コードが抜いてください。電源コードが繋がれたままで作業を行うと、怪我をしたり、マザーボードが破損する可能性があります。
- 静電気によってマザーボードの部品が破損することを防止するために、マザーボードはカーペットの上に置かないでください。また、静電気防止リストストラップを着用するか、または、部品を取り扱う前に静電気除去オブジェクトに触れてください。
- 基板の端をつかんでください。IC には触れないでください。
- マザーボードを取り外す場合は、取り外したマザーボードを接地した静電気防止パッドの上に置るか、商品に付属している袋に入れてください。
- マザーボードをシャーシに固定する為にねじを使う場合は、ねじを締め付けすぎないでください。ねじを締め付けすぎると、マザーボードが破損することがあります。

2.1 CPU を取り付ける

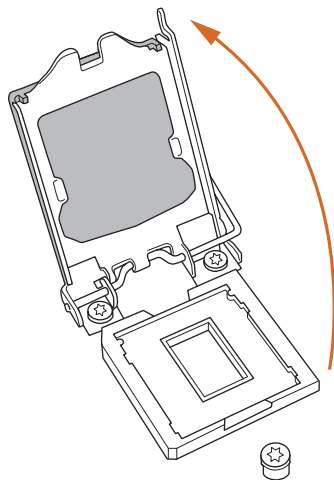


1. 1151 ピン CPU をソケットに挿入する前に、**PnP** キャップ がソケット上にあること、CPU 表面に汚れがないこと、または、ソケット内に曲がったピンがないことを確認してください。PnP キャップがソケット上になかったり、CPU 表面が汚れていたり、または、ソケット内に曲がったピンがある場合は、CPU を無理にソケット内に挿入しないでください。CPU を無理にソケット内に挿入すると、CPU の甚大な破損につながります。
2. CPU を取り付ける前に、すべての電源ケーブルを取り外してください。

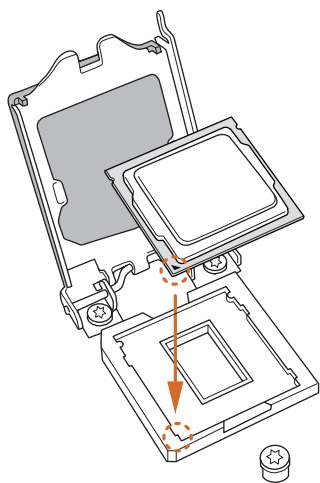
1



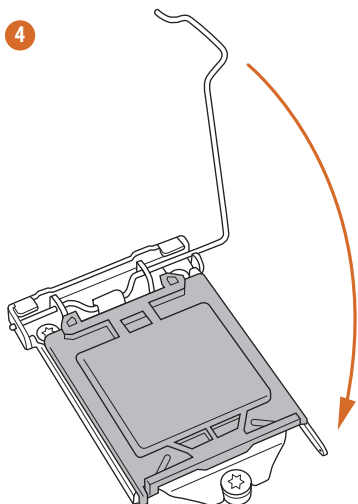
2



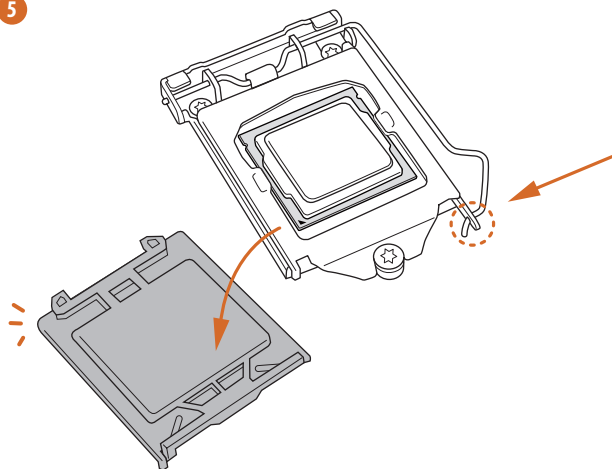
3



4



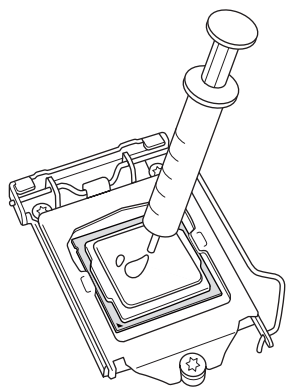
5



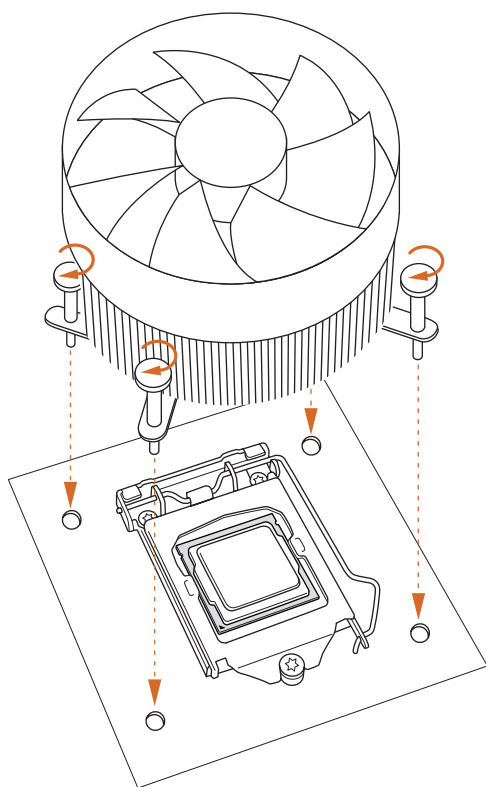


プロセッサを取り外した場合は、カバーを保管して取り付け直してください。アフターサービスのためにマザーボードを返品する場合は、カバーを必ず取り付けてください。

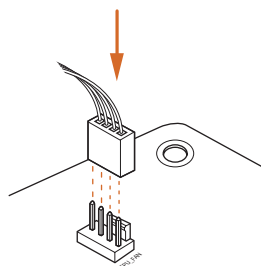
2.2 CPU ファンとヒートシンクを取り付ける



1



2



2.3 メモリモジュール（DIMM）を取り付ける

このマザーボードには 4 つの 288 ピン DDR4(ダブルデータレート 4)DIMM スロットが装備されており、デュアルチャンネルメモリ技術に対応します。



1. デュアルチャンネルメモリ設定のために、同一(同じブランド、同じ速度、同じサイズ、同じチップタイプ)の DDR4 DIMM を 1 組取り付ける必要があります。
2. 1 つまたは 3 つのメモリモジュールが取り付けられている場合は、デュアルチャンネルメモリテクノロジーを有効にできません。
3. DDR、DDR2 または DDR3 メモリモジュールは DDR4 スロットに取り付けることはできません。取り付けると、マザーボードと DIMM が破損することがあります。

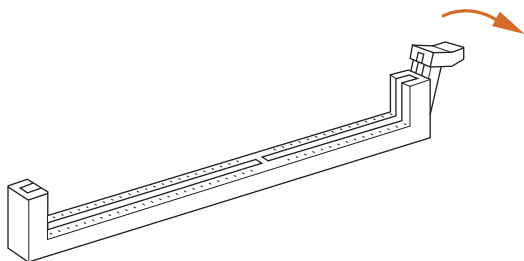
デュアルチャンネルメモリ設定

優先順位	DDR4_A1	DDR4_A2	DDR4_B1	DDR4_B2
1		実装済み		実装済み
2	実装済み		実装済み	
3	実装済み	実装済み	実装済み	実装済み

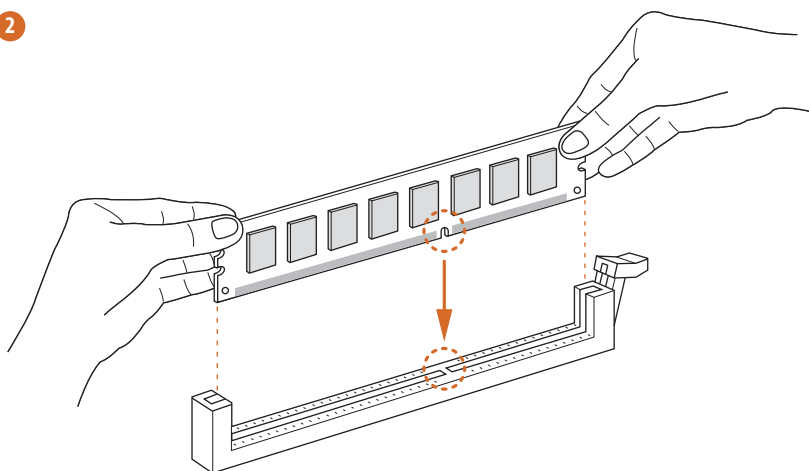


DIMM は 1 つの正しい方向にしか取り付けることができません。DIMM を間違った方向に無理に挿入すると、マザーボードと DIMM の損傷につながります。

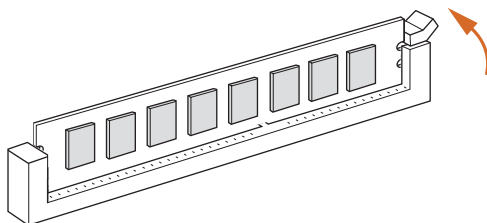
1



2

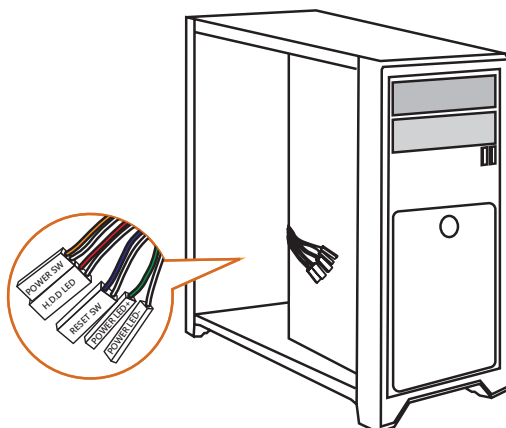


3

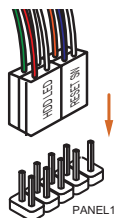


2.4 前面パネルヘッダーを接続する

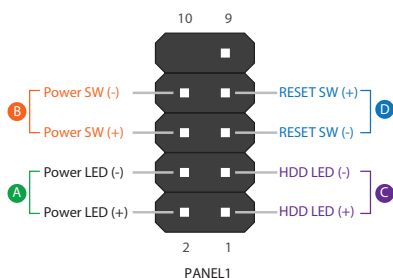
1



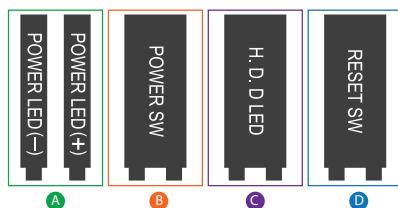
2



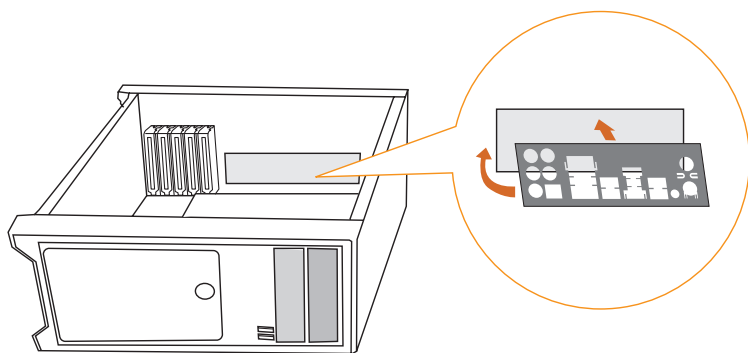
端子側



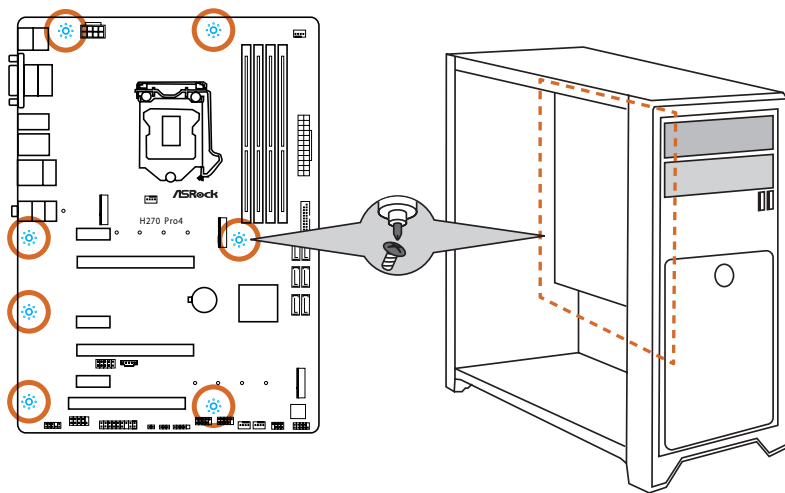
配線側



2.5 I/O パネルシールドを取り付ける



2.6 マザーボードを取り付ける

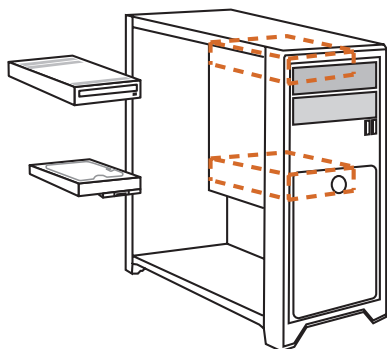


2.7 SATA ドライブを取り付ける

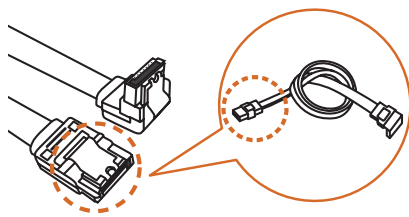
1

光学ドライブ

SATA ドライブ

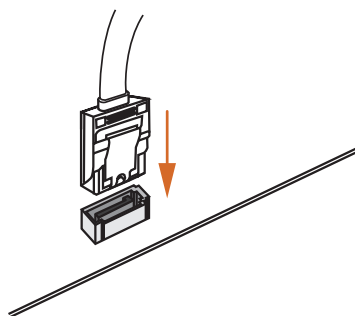


2

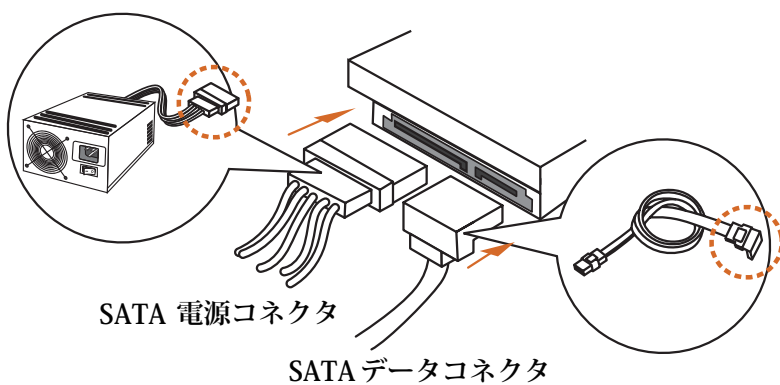


SATA データケーブル

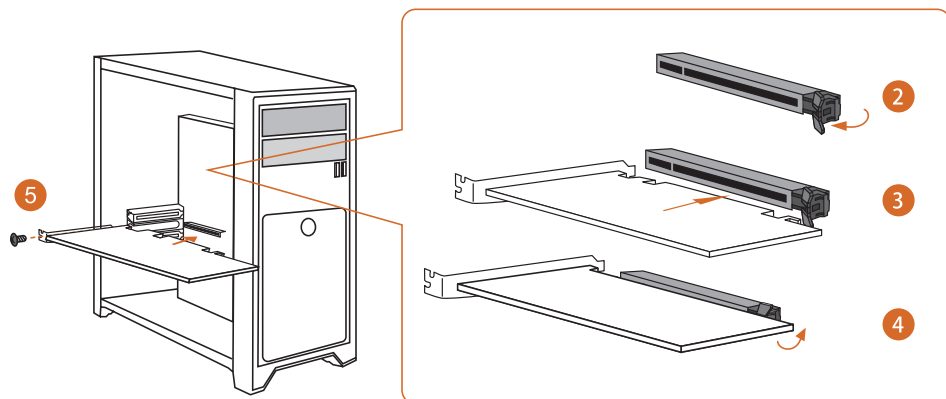
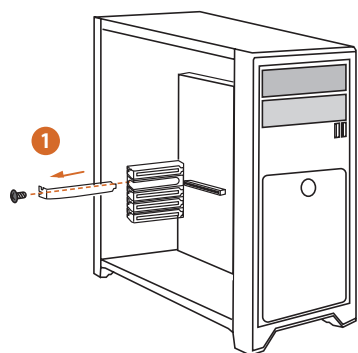
3



4



2.8 グラフィックスカードを取り付ける



拡張スロット（PCI スロットと PCI Express スロット）

このマザーボードには 1 つの PCI スロットと 5 つの PCI Express スロットが装備されています。



拡張カードを取り付ける前に、電源供給が切斷されていること、または、電源コードが取り外されていることを確認してください。取り付け作業を始める前に、拡張カードに添付されている文書を読んで、カード用に必要なハードウェア設定を行ってください。

PCI スロット：

PCI を使用して 32-bit PCI インターフェイスが搭載された拡張カードを取り付けます。

PCIe スロット：

PCIE1 (PCIe 3.0 x1 スロット) は PCI Express x1 レーン幅カード向けに使用します。
PCIE2 (PCIe 3.0 x16 スロット) は PCI Express x16 レーン幅グラフィックスカード向けに使用します。

PCIE3 (PCIe 3.0 x1 スロット) は PCI Express x1 レーン幅カード向けに使用します。

PCIE4 (PCIe 3.0 x16 スロット) は PCI Express x4 レーン幅グラフィックスカード向けに使用します。

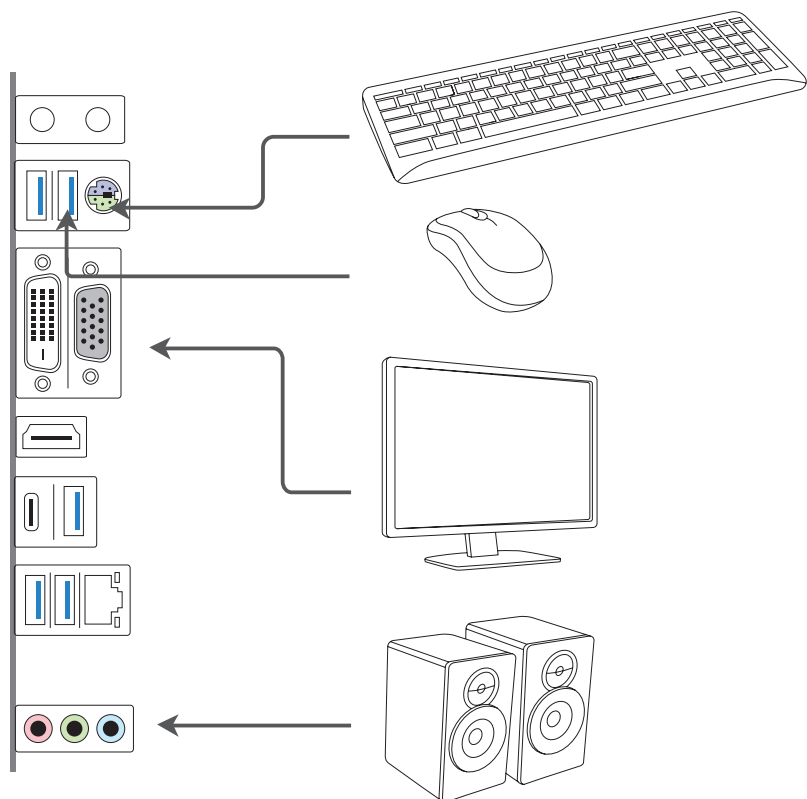
PCIE5 (PCIe 3.0 x1 スロット) は PCI Express x1 レーン幅カード向けに使用します。

	PCIE2	PCIE4
シングルグラフィックスカード	x16	N/A
CrossFireX™ モードで 2 枚のグラフィックスカード	x16	x4

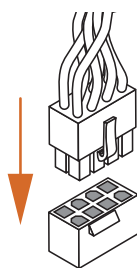
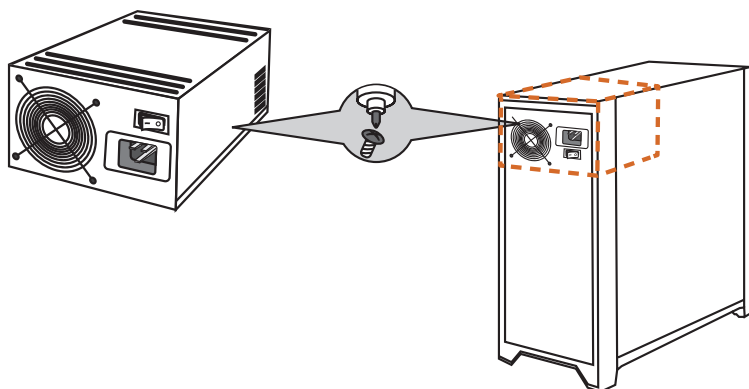


複数のグラフィックスカードを使用する場合は、サーマル環境を改善するために、シャーシファンをマザーボードのシャーシファンコネクタ (CHA_FAN1、CHA_FAN2、または、CHA_FAN3) に接続してください。

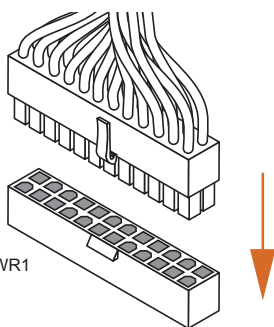
2.9 周辺機器を接続する



2.10 電源コネクタを接続する

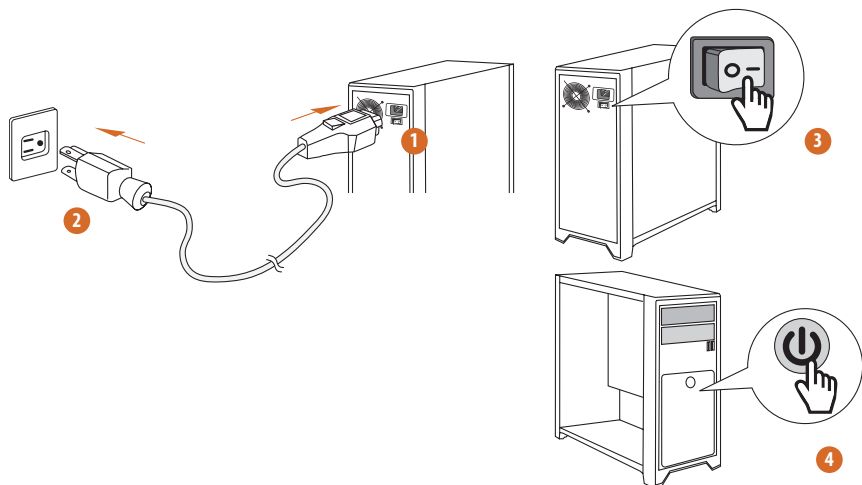


ATX12V1



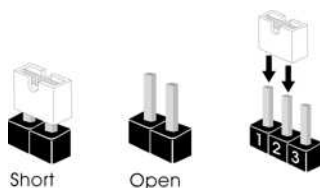
ATXPWR1

2.11 電源オン



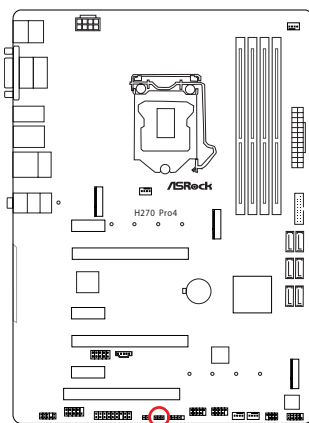
2.12 ジャンパー設定

このイラストは、ジャンパーの設定方法を示しています。ジャンパーキャップがピンに被さっていると、ジャンパーは「ショート」です。ジャンパーキャップがピンに被さっていない場合には、ジャンパーは「オープン」です。この図は 3 ピンのジャンパーを表し、ジャンパーキャップがピン 1 とピン 2 に被さっているとき、これらのピンは「ショート」です。



CMOS クリアジャンパー (CLRMOSE1) (p.7、No. 21 参照)

CLRMOSE1 を使って CMOS 内のデータをクリアできます。クリアして、デフォルト設定にシステムパラメーターをリセットするには、コンピューターの電源を切り、電源から電源コードを抜いてください。15 秒待ってから、ジャンパーキャップを使って CLRMOSE1 のピン 2 とピン 3 を 5 秒間ショートします。ただし、BIOS をアップデートした直後に、CMOS をクリアしないでください。BIOS をアップデート後、CMOS をクリアする必要がある場合は、最初にシステムを起動し、それから CMOS クリアアクションを行う前にシャットダウンしてください。パスワード、日付、時間、ユーザーのデフォルトプロファイルは、CMOS の電池を取り外した場合にのみ、消去されることにご注意ください。



CLRMOSE1



2.13 オンボードのヘッダーとコネクタ

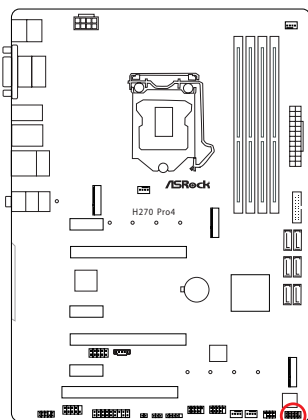


オンボードヘッダーとコネクタはジャンパーではありません。これらヘッダーとコネクタにはジャンパーキャップを被せないでください。ヘッダーおよびコネクタにジャンパーキャップを被せると、マザーボードに物理損傷が起こることがあります。

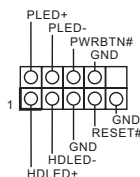
システムパネルヘッダー

(9 ピンパネル 1) (p.7、No. 14 参照)

電源スイッチを接続し、スイッチをリセットし、下記のピン割り当てに従って、シャーシのシステムステータス表示ランプをこのヘッダーにセットします。ケーブルを接続するときには、ピンの＋と－に気をつけてください。



パネル 1



PWRBTN(電源スイッチ):

シャーシ前面パネルの電源スイッチに接続してください。電源スイッチを使用して、システムをオフにする方法を設定できます。

RESET(リセットスイッチ):

シャーシ前面パネルのリセットスイッチに接続してください。コンピューターがフリーズしたり、通常の再起動を実行できない場合には、リセットスイッチを押して、コンピューターを再起動します。

PLED(システム電源 LED):

シャーシ前面パネルの電源ステータスインジケータに接続してください。システム稼働中は、LED が点灯します。システムが S1/S3 スリープ状態の場合には、LED は点滅が続けます。システムが S4 スリープ状態または電源オフ(S5)のときには、LED はオフです。

HDLED(ハードドライブアクティビティ LED):

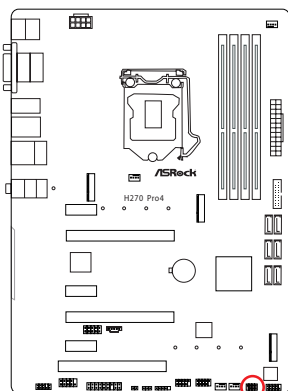
シャーシ前面パネルのハードドライブアクティビティ LED に接続してください。ハードドライブのデータを読み取りまたは書き込み中に、LED はオンになります。

前面パネルデザインは、シャーシによって異なる場合があります。前面パネルモジュールは、主に電源スイッチ、リセットスイッチ、電源 LED、ハードドライブアクティビティ LED、スピーカーなどから構成されます。シャーシの前面パネルモジュールとこのヘッダーを接続する場合には、配線の割り当てと、ピンの割り当てが正しく合致していることを確かめてください。

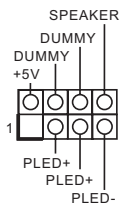
電源 LED とスピーカーヘッダー

(7 ピン SPK_PLED1) (p.7、No. 15 参照)

シャーシ電源 LED とシャーシスピーカーをこのヘッダーに接続してください。



SPK_PLED1



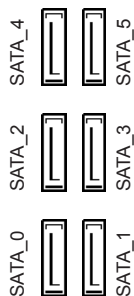
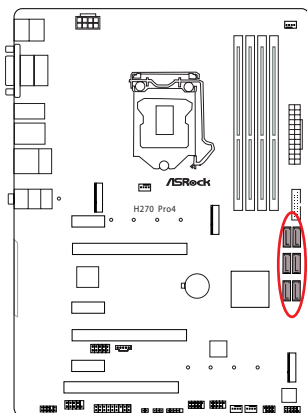
シリアル ATA3 コネクタ

(p.7、No. 8-13 参照)

これら 6 つの SATA3 コネクタは最高 6.0Gb/s のデータ転送速度をサポートし、内部ストレージデバイス用の SATA データケーブルに対応致します。

* SATA タイプ M.2 デバイスで M2_1 を使用している場合は、SATA3_5 は無効になります。

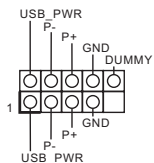
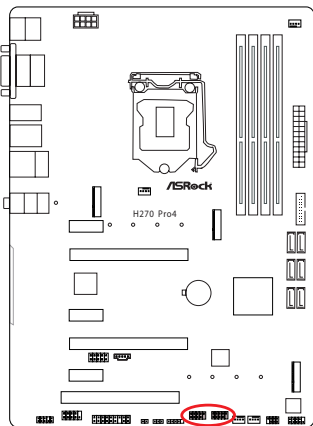
* SATA タイプ M.2 デバイスで M2_2 を使用している場合は、SATA3_0 は無効になります。



USB 2.0 ヘッダー

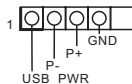
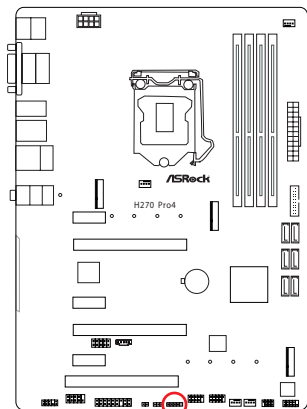
(p.7, No. 18-19 参照)

このマザーボードには 2 つの USB 2.0 ヘッダーが装備されています。各 USB 2.0 ヘッダーは、2 つのポートをサポートできます。

**USB 2.0 ヘッダー**

(p.7, No. 20 参照)

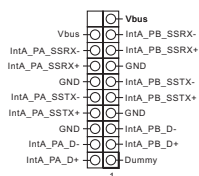
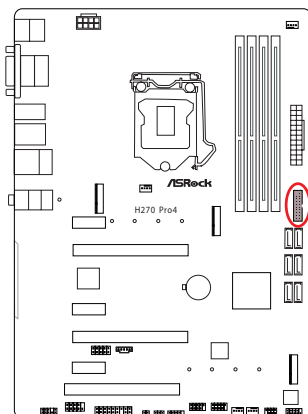
このマザーボードには 1 つの USB 2.0 ヘッダーが装備されています。それぞれのヘッダーは 1 つのポートに対応できます。



USB 3.0 ヘッダー

(p.7、No. 7 参照)

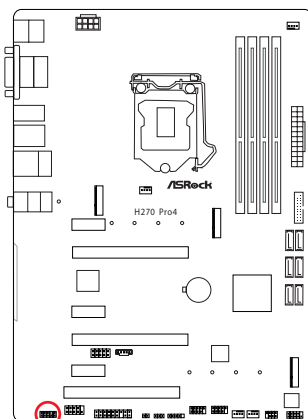
I/O パネルの 6 つの USB 3.0 ポートに加えて、このマザーボードには 1 つのヘッダーが装備されています。各 USB 3.0 ヘッダーは、2 つのポートをサポートできます。



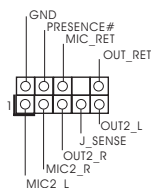
フロントパネルオーディオヘッダー

(9ピン HD_AUDIO1) (p.7、No. 25 参照)

このヘッダーは、フロントオーディオパネルにオーディオデバイスを接続するためのものです。



HD AUDIO1





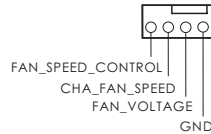
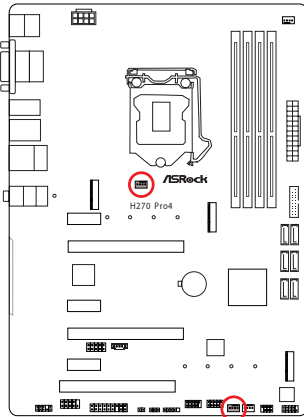
1. ハイディフィニションオーディオはジャックセンシングをサポートしていますが、正しく機能するためには、シャーシのパネルワイヤーが HDA をサポートしている必要があります。お使いのシステムを取り付けるには、当社のマニュアルおよびシャーシのマニュアルの指示に従ってください。
2. AC'97 オーディオパネルを使用する場合には、次のステップで、前面パネルオーディオヘッダーに取り付けてください。
 - A. Mic_IN (MIC) を MIC2_L に接続します。
 - B. Audio_R (RIN) を OUT2_R に、Audio_L (LIN) を OUT2_L に接続します。
 - C. アース (GND) をアース (GND) に接続します。
 - D. MIC_RET と OUT_RET は、HD オーディオパネル専用です。AC'97 オーディオパネルではこれらを接続する必要はありません。
 - E. フロントマイクを有効にするには、Realtek コントロールパネルの「FrontMic」タブで、「録音音量」を調整してください。

シャーシファンコネクタ

(4 ピン CHA_FAN1) (p.7、No. 17 参照)

(4 ピン CHA_FAN2) (p.7、No. 2 参照)

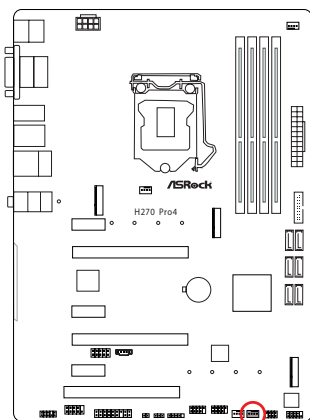
ファンケーブルはファンコネクタに接続し、黒線とアースピンを合わせてください。



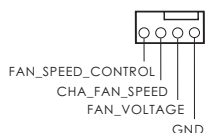
シャーンファン / ウォーターポンプファンコネクタ

(4 ピン CHA_FAN3/W_PUMP) (p.7、No. 16 参照)

ファンケーブルはファンコネクターに接続し、黒線とアースピンを合わせてください。



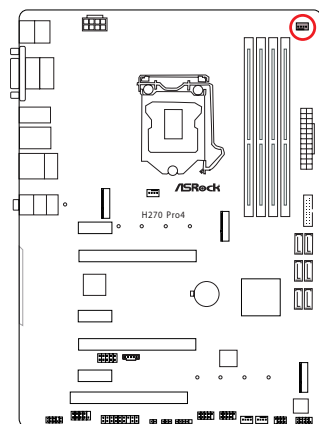
CHA_FAN3/W_PUMP



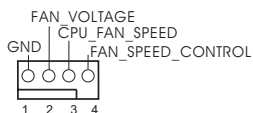
CPU ファンコネクタ

(4 ピン CPU_FAN1) (p.7、No. 5 参照)

このマザーボードは 4 ピン CPU ファン(静音ファン)コネクターが装備されています。3 ピンの CPU ファンを接続する場合には、ピン 1-3 に接続してください。



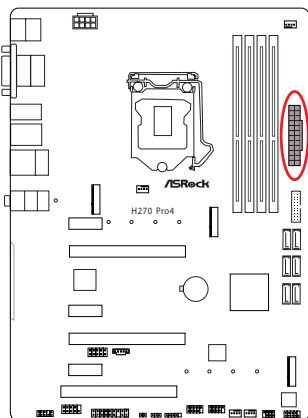
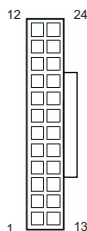
CPU_FAN1



ATX 電源コネクタ

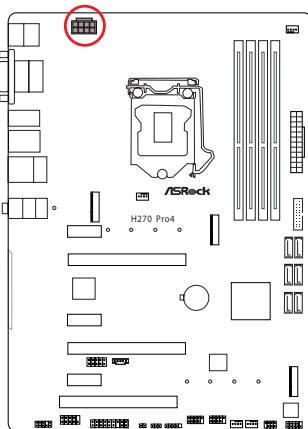
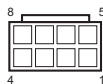
(24 ピン ATXPWR1) (p.7, No. 6 参照)

このマザーボードは 24 ピン ATX 電源コネクタが装備されています。20 ピンの ATX 電源を使用するには、ピン 1 と 13 番に合わせて接続してください。

**ATXPWR1****ATX 12V 電源コネクタ**

(8 ピン ATX12V1) (p.7, No. 1 参照)

このマザーボードは 8 ピン ATX12V 電源コネクタが装備されています。4 ピンの ATX 電源を使用するには、ピン 1 と 5 番に合わせて接続してください。

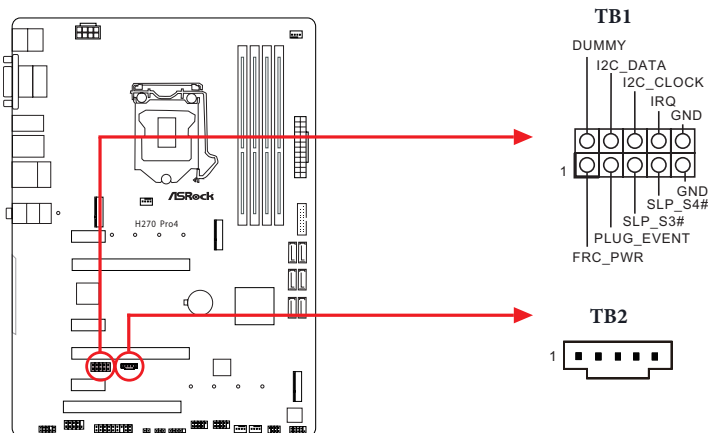
**ATX12V1**

Thunderbolt AIC コネクタ

(5 ピン TB2) (p.7, No. 26 参照)

(10 ピン TB1) (p.7, No. 27 参照)

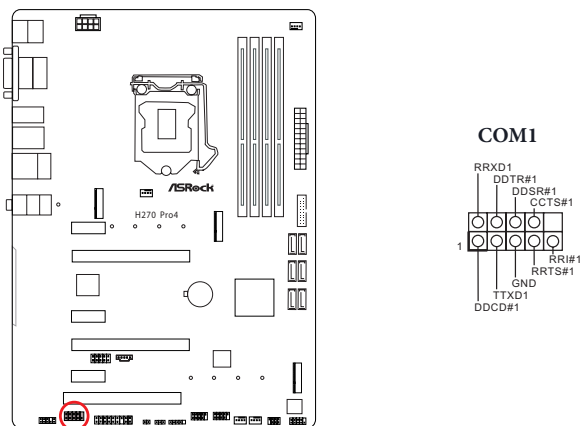
GPIO ケーブルを使って、Thunderbolt ™ アドインカード(AIC)をこのコネクタに接続してください。



シリアルポートヘッダー

(9 ピン COM1) (p.7, No. 24 参照)

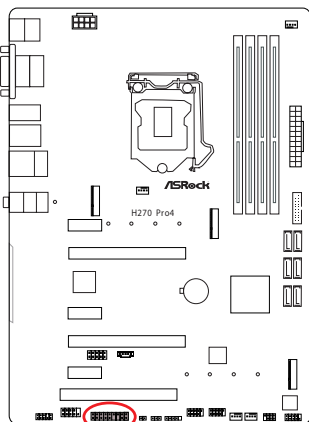
この COM1 ヘッダーはシリアルポートモジュールをサポートします。



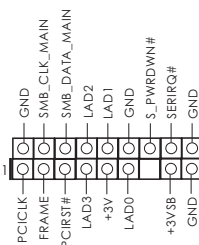
TPM ヘッダー

(17 ピン TPM1) (p.7, No. 23 参照)

このコネクタはトラステッドプラットフォームモジュール(TPM)システムをサポートし、鍵、デジタル証明書、パスワード、データを安全に保管することができます。TPM システムはまた、ネットワークセキュリティを高め、デジタル証明書を保護し、プラットフォームの完全性を保証します。



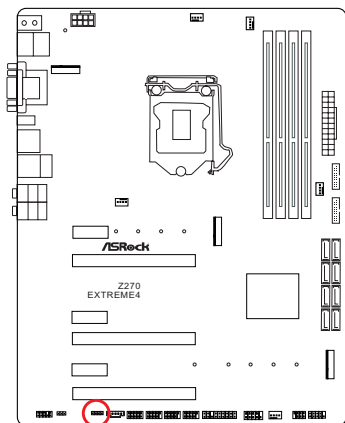
TPM1



ケースイントルージョンヘッダー

(2 ピン CH1) (p.7, No. 22 参照)

このマザーボードはシャーシカバーが開けられたことを検知する、ケース開閉検知機能をサポートします。この機能には、シャーシイントルージョン検知設計されたシャーシが必要です。



CH1



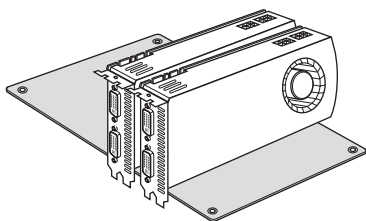
2.14 CrossFireX™ と Quad CrossFireX™ オペレーションガイド

このマザーボードは CrossFireX™ および Quad CrossFireX™ に対応するので、最大 3 枚の同一の PCI Express x16 グラフィックスカードを取り付けることができます。



1. AMD 認定されている同一の CrossFireX™ 対応グラフィックスカードだけを使用してください。
2. お使いのグラフィックスカードドライバが AMD CrossFireX™ テクノロジーに対応することを確認してください。AMD のウェブサイトからドライバをダウンロードします。www.amd.com
3. 電源供給ユニット (PSU) が少なくともシステムに必要な最小電源を供給できることを確認してください。AMD 認定 PSU を使用することを推奨します。詳細については AMD のウェブサイトを参照してください。
4. 12 バイプ CrossFireX™ エディションカードと 16 バイプカードを組み合わせる場合は、CrossFireX™ モードでは、両方のカードは 12 バイプカードとして動作します。
5. 異なる CrossFireX™ カードは異なる方法で CrossFireX™ を有効にする必要があります。詳しい取り付け説明については、AMD グラフィックスカードの取扱説明書を参照してください。

2.14.1 2 枚の CrossFireX™ 対応グラフィックスカードを取り付ける



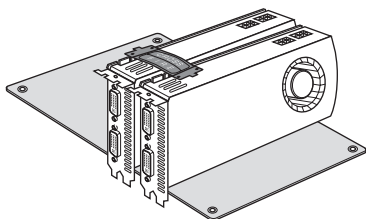
手順 1

1 枚のグラフィックスカードを PCIE2 スロットに挿入して、もう 1 枚のグラフィックスカードを PCIE4 スロットに挿入します。カードがスロットに正しく収まっていることを確認してください。

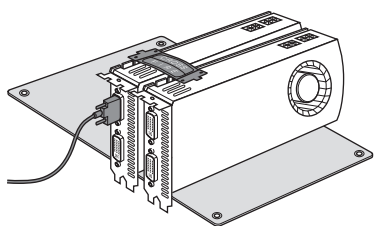


CrossFire ブリッジ

手順 2



CrossFire ブリッジをグラフィックスカードの一番上にある CrossFire ブリッジインターコネクト上に取り付けて 2 枚のグラフィックスカードを接続します。(CrossFire ブリッジは購入するグラフィックスカードに付属しています。このマザーボードのバンドル付属品ではありません。詳細についてはグラフィックスカードのベンダーまでお問い合わせください。)

**手順3**

VGA ケーブルまたは DVI ケーブルを、PCIE2 スロットに挿入したグラフィックスカードのモニターコネクタあるいは DVI コネクタに接続します。

2.14.2 ドライバのインストールとセットアップ

手順 1

コンピュータの電源を入れて OS を起動します。

手順 2

VGA ドライバをシステムにインストールしている場合は、AMD ドライバを削除します。



Catalyst Uninstaller(カタリストアンインストーラ)はオプションのダウンロードです。インストールする前に、以前にインストールした Catalyst(カタリスト)ドライバをこのユーティリティを使用してアンインストールすることを推奨します。AMD ドライバの更新については AMD のウェブサイトを参照してください。

手順 3

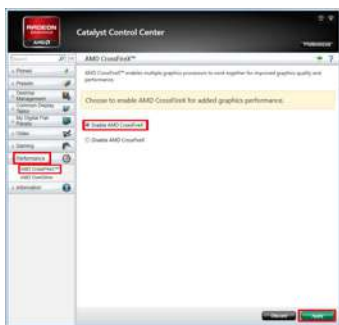
必要なドライバとカタリストコントロールセンターをインストールして、コンピュータを再起動します。詳細については AMD のウェブサイトを参照してください。



AMD Catalyst Control Center
(AMD カタリストコントロールセンター)

手順 4

Windows® システムトレイにある **AMD Catalyst Control Center**(AMD カタリストコントロールセンター)アイコンをダブルクリックします。



手順 5

左ペインで、**Performance**(パフォーマンス)をクリックして、次に、**AMD CrossFireX™**をクリックします。次に、**Enable AMD CrossFireX**(AMD CrossFireX を有効にする)を選択して、**Apply**(適用)をクリックします。使用するグラフィックスカードに従って GPU の数を選択して、**Apply**(適用)をクリックします。

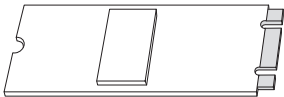
2.15 M.2_SSD (NGFF) モジュール取り付けガイド

M.2 は次世代フォームファクタ (Next Generation Form Factor、NGFF) とも呼ばれます。M.2 は小型の多目的カードエッジコネクタであり、mPCIe and mSATA に代わることを目的とします。ウルトラ M.2 ソケット (M2_1 と M2_2) は SATA3 6.0 Gb/s モジュールおよび最大 Gen3 x4 (32 Gb/s) までの M.2 PCI Express モジュールに対応します。

- * SATA タイプ M.2 デバイスで M2_1 を使用している場合は、SATA3_5 は無効になります。
- * SATA タイプ M.2 デバイスで M2_2 を使用している場合は、SATA3_0 は無効になります。

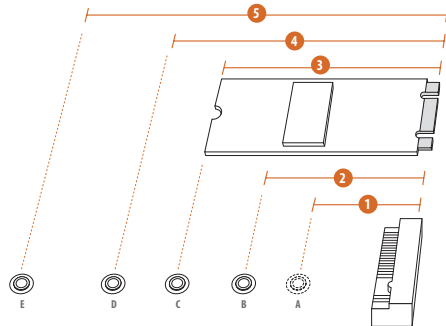
M.2_SSD (NGFF) モジュールを取り付ける

手順 1



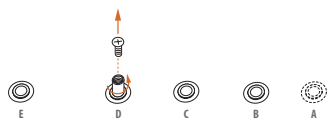
M.2_SSD (NGFF) モジュールおよびねじを準備します。

手順 2



PCB のタイプと M.2_SSD (NGFF) の長さに合わせて、一致するねじの位置を選んでください。

番号	1	2	3	4
ナットの場所	A	B	C	D
PCB 長さ	3cm	4.2cm	6cm	8cm
モジュールのタイプ	タイプ 2230	タイプ 2242	タイプ 2260	タイプ 2280



手順3



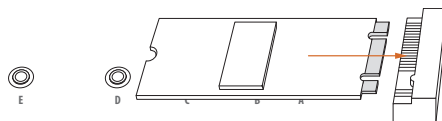
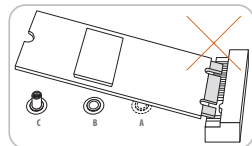
モジュールのタイプと長さに基づいてスタンドオフを移動します。デフォルトでは、スタンドオフはナット位置 D にあります。デフォルトのナットを使用する場合は、手順3と手順4をスキップして手順5に進みます。その他の場合はスタンドオフを手で緩めます。



手順4

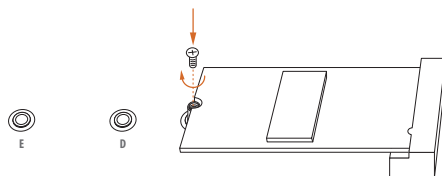


ねじに貼付されている黄色の保護フィルムをはがします。デバイスを取り付ける場所にあわせて、手でねじを締めてください。



手順5

M.2 (NGFF) SSD モジュールを整列して、丁寧に M.2 スロットに挿入します。M.2 (NGFF) SSD モジュールは1方向にしか取り付けることができません。



手順6

ドライバでねじをしっかりと留めてください。しかし、きつく締めるすぎるとモジュールが破損する恐れがあるのでご注意ください。

M.2_SSD (NGFF) モジュールサポート一覧

ベンダー	サイズ	インター フェース	長さ	部品番号
ADATA	128GB	SATA3	2280	AXNS381E-128GM-B
ADATA	256GB	SATA3	2280	AXNS381E-256GM-B
ADATA	32GB	SATA3	2230	AXNS330E-32GM-B
Crucial	120GB	SATA3	2280	CT120M500SSD4
Crucial	240GB	SATA3	2280	CT240M500SSD4
Intel	80GB	SATA3	2280	Intel SSDSCKGW080A401/80G
Intel	256GB	PCIe3 x4	2280	SSDPEKKF256G7
Intel	512GB	PCIe3 x4	2280	SSDPEKKF512G7
Kingston	120GB	SATA3	2280	SM2280S3
Kingston	480GB	PCIe2 x4	2280	SH2280S3/480G
OCZ	512GB	PCIe3 x4	2280	RVD400 -M2280-512G (NVME)
Plextor	128GB	PCIe3 x4	2280	PX-128M8PeG
Plextor	1TB	PCIe3 x4	2280	PX-1TM8PeG
Plextor	256GB	PCIe3 x4	2280	PX-256M8PeG
Plextor	256GB	PCIe	2280	PX-G256M6e
Plextor	512GB	PCIe3 x4	2280	PX-512M8PeG
Plextor	512GB	PCIe	2280	PX-G512M6e
Samsung	256GB	PCIe3 x4	2280	SM951 (MZHPV256HDGL)
Samsung	256GB	PCIe3 x4	2280	SM951 (NVME)
Samsung	512GB	PCIe3 x4	2280	SM951 (MZHPV512HDGL)
Samsung	512GB	PCIe3 x4	2280	SM951 (NVME)
Samsung	512GB	PCIe x4	2280	XP941-512G (MZHPU512HCGL)
SanDisk	128GB	PCIe	2260	SD6PP4M-128G
SanDisk	256GB	PCIe	2260	SD6PP4M-256G
Team	128GB	SATA3	2242	TM4PS4128GMC105
Team	128GB	SATA3	2280	TM8PS4128GMC105
Team	256GB	SATA3	2280	TM8PS4256GMC105
Team	256GB	SATA3	2242	TM4PS4256GMC105
Transcend	256GB	SATA3	2242	TS256GMTS400
Transcend	512GB	SATA3	2260	TS512GMTS600
Transcend	512GB	SATA3	2280	TS512GMTS800
V-Color	120GB	SATA3	2280	VLM100-120G-2280B-RD
V-Color	240GB	SATA3	2280	VLM100-240G-2280B-RD
V-Color	240GB	SATA3	2280	VSM100-240G-2280

M.2_SSD (NFGG) モジュールサポート一覧の最新の更新については、弊社のウェブサイト
 で詳細をご確認ください。 <http://www.asrock.com>

第3章 ソフトウェアとユーティリティの操作

3.1 ドライバを取り付ける

マザーボードに付属しているサポート DVD には、必要なドライバ、および、マザーボードの機能を強化する便利なユーティリティが含まれています。

サポート DVD を実行する

サポート DVD を使用するために、DVD を DVD/BD ドライブに挿入します。コンピュータで「AUTORUN(自動実行)」が有効になっている場合は、DVD がメインメニューを自動的に表示します。メインメニューが自動的に表示されない場合は、サポート DVD 内のファイル「ASRSETUP.EXE」をダブルクリックしてメニューを表示します。

ドライバメニュー

システムと互換性のあるドライバが自動的に検出されて、サポート DVD ドライバページに一覧表示されます。**Install All(すべてインストールする)**をクリックするか、または、上から下への順番で必要なドライバをインストールしてください。このようにインストールすることで、ドライバが正しく動作するようにします。

ユーティリティメニュー

ユーティリティメニューには、マザーボードが対応するアプリケーションソフトウェアが表示されます。特定の項目をクリックして、インストールウィザードに従ってインストールします。



Windows 7 との互換性を向上させるために、Microsoft が提供する次のホットフィックスをダウンロードしてインストールしてください。
「KB2720599」: <http://support.microsoft.com/kb/2720599/en-us>

3.2 A-Tuning

A-Tuning は ASRock の多目的ソフトウェアスイートです。新しいインターフェースを有し、数々の新しい機能が追加されており、ユーティリティが改善されていました。

3.2.1 A-Tuning をインストールする

A-Tuning を ASRock Live Update & APP Shop (ASRock ライブ更新と APP ショップ) からダウンロードできます。インストール後、デスクトップに「A-Tuning」アイコンが表示されます。「A-Tuning」アイコンをダブルクリックすると、A-Tuning のメインメニューがポップアップ表示されます。

3.2.2 A-Tuning を使用する

A-Tuning のメインメニューには次の 6 つのセクションがあります: Operation Mode (操作モード)、OC Tweaker (OC 調整)、System Info (システム情報)、FAN-Tastic Tuning (FAN-Tastic チューニング)、Settings (設定)。

Operation Mode (操作モード)

コンピューターの操作モードを選択します。

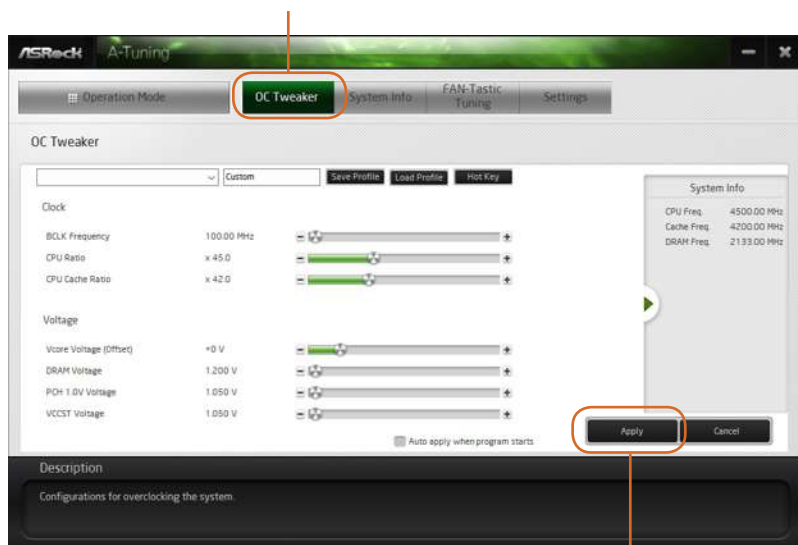
素早く電源とシステム性能が調整できます。



OC Tweaker (OC 調整)

システムのオーバークロック設定。

オーバークロック設定



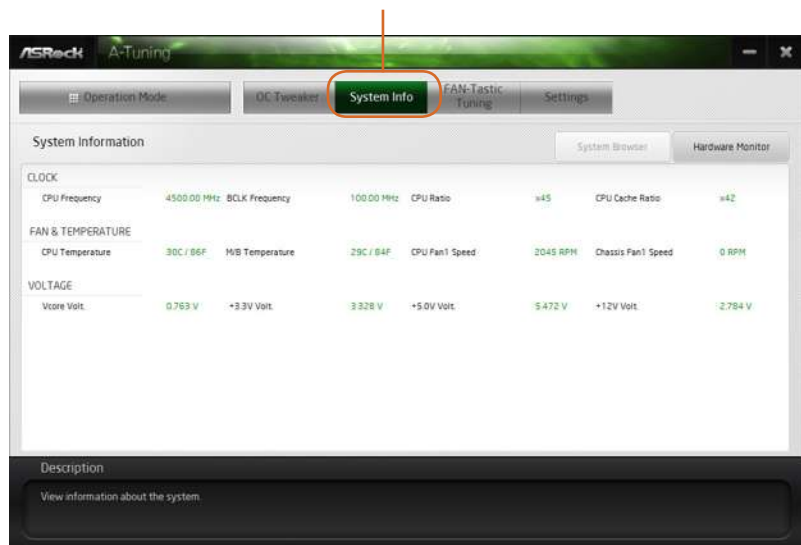
設定を完了すると Apply を押し保存します。

System Info (システム情報)

システムに関する情報を表示します。

* モデルによっては、システムブラウザタブが表示されないことがあります。

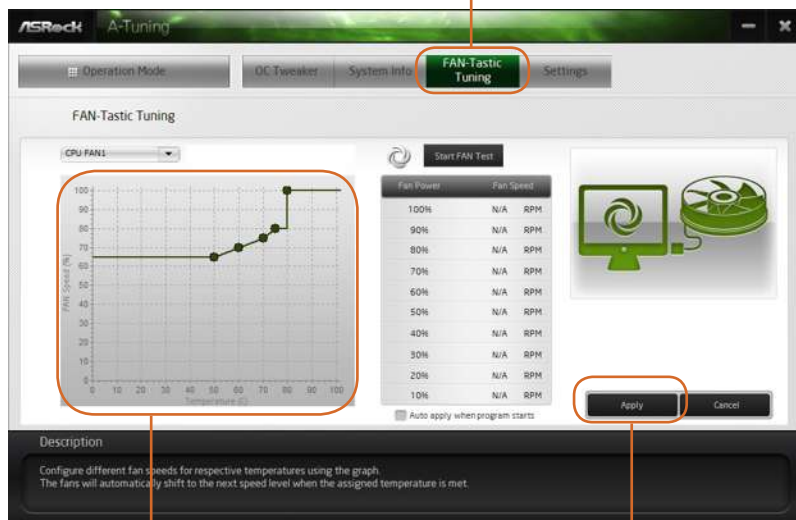
システム現在の各詳細情報が見られます。



FAN-Tastic Tuning (ファン調整)

グラフを使用して、最大 5 種類のファン速度が設定できます。割当てられた温度に達すると、ファンは次の速度レベルへと自動的にシフトします。

マザーボードに接続したクーラーの回転数テストまたは
左のグラフを変わって回転数調整ができます。



ファン速度調整

設定を完了すると Apply を押し保存します。

Settings (設定)

ASRock A-Tuning を設定します。Windows オペレーションシステムを起動する際に A-Tuning を始動したい場合は、「Auto run at Windows Startup (Windows 起動時に自動実行)」をクリックして選択します。

Setting ページでは F-Stream をシステムが立ち上げる際自動起動する設定が出来ます。

The screenshot shows the ASRock A-Tuning application window with the 'Tech Service' tab active. The 'User Information' section is highlighted with a red circle. The form contains the following fields:

- Name: [Text field]
- Phone: 0123456789
- Language: English (dropdown)
- Country: Taiwan (dropdown)
- E-Mail: ApA.COM
- Purchase Date: 4/10/2014
- Serial Number: 0-123-456789

The 'Problem Information' section includes:

- Subject: Tech Service Form Test #
- Problem Type: Others (dropdown)
- Description:
 - Hi, ASRock
 - Technical Support Test
 - 技術支援テスト
 - Техническая поддержка. Испытательный
 - テクニカルサポートテスト
 - 技術支援テスト
 - 기술 지원 시험
 - Technischer Support Test

At the bottom of the window, there are 'Apply' and 'Cancel' buttons. A description at the very bottom reads: 'Contact ASRock Tech Service if you are having trouble with your PC.'

3.3 ASRock Live Update & APP Shop（ASRock ライブ更新と APP ショップ）

ASRock ライブ更新と APP ショップは、ASRock コンピュータ用のソフトウェアアプリケーションを購入したりダウンロードできるオンラインストアです。さまざまなアプリケーションとサポートユーティリティを素早く簡単にインストールできます。ASRock APP ショップを使用すれば、数回クリックするだけで、システムを最適化して、マザーボードを最新の状態に維持できます。

デスクトップ上の  をダブルクリックして ASRock ライブ更新と APP ショップユーティリティにアクセスします。

*ASRock ライブ更新と APP ショップからアプリケーションをダウンロードするにはインターネットに接続している必要があります。

3.3.1 UI 概要



Category Panel (カテゴリパネル)： カテゴリパネルにはいくつかのタブまたはボタンがあります。これらのタブまたはボタンを選択すると、下の情報パネルに關係する情報が表示されます。

Information Panel (情報パネル)： 中央にある情報パネルには、現在選択されているカテゴリについてのデータが表示されます。また、ジョブに關係するタスクを実行できます。

Hot News (ホットニュース)： ホットニュースセクションにはさまざまな最新ニュースが表示されます。画像をクリックして選択したニュースのウェブサイトを開いて詳しく読むことができます。

3.3.2 Apps（アプリ）

「Apps(アプリ)」タブを選択すると、ダウンロードできるすべてのアプリが画面上に表示されます。

アプリをインストールする

手順 1

インストールしたいアプリを検索します。



最も推奨されるアプリが画面の左側に表示されます。その他のさまざまなアプリは右側に表示されます。上下にスクロールして一覧にあるアプリを検索してください。

アプリの価格を確認したり、アプリを既にインストールしているかどうかを確認できます。

 - 赤色のアイコンに価格が表示されます。または、アプリが無料の場合は「Free（無料）」と表示されます。

 - 緑色の「Installed(インストール済み)」アイコンは、アプリがコンピュータにインストールされていることを意味します。

手順 2

アプリアイコンをクリックすると、選択したアプリの詳細情報が表示されます。

手順3

アプリをインストールしたい場合は、赤色のアイコン  をクリックしてダウンロードを開始します。



手順4

インストールが完了すると、右上端に緑色の「Installed(インストール済み)」アイコンが表示されます。



アプリをアンインストールするには、ゴミ箱アイコン  をクリックします。
 * アプリによっては、ゴミ箱アイコンが表示されないことがあります。

アプリをアップグレードする

アップグレードできるのはインストール済みのアプリのみです。アプリの新しいバージョンがある場合は、インストールしたアプリアイコンの下に「New Version (新しいバージョン)」のマークが表示されます。



手順 1

アプリアイコンをクリックすると、詳細情報が表示されます。

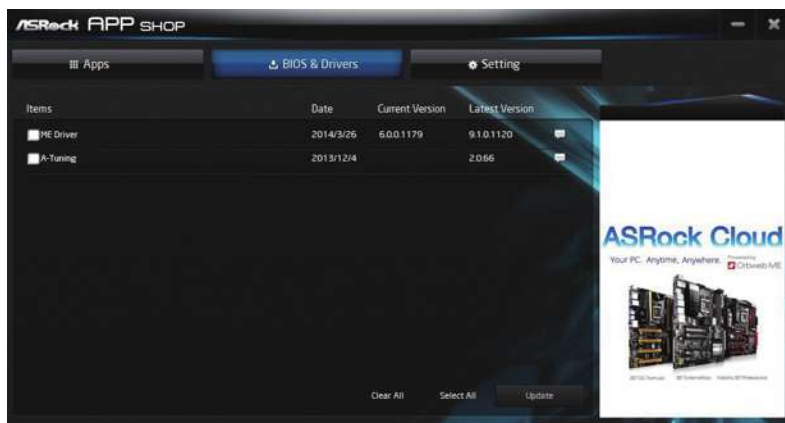
手順 2

黄色のアイコン  をクリックしてアップグレードを開始します。

3.3.3 BIOS & Drivers（BIOS とドライバ）

BIOS またはドライバをインストールする

「BIOS & Drivers(BIOS とドライバ)」タブを選択すると、BIOS またはドライバ用の推奨更新または重要な更新が一覧表示されます。速やかにすべて更新してください。



手順 1

更新する前に項目情報を確認してください。📄 をクリックすると、詳細情報が表示されます。

手順 2

更新したい項目を 1 つまたは複数クリックして選択します。

手順 3

「Update(更新)」をクリックして更新処理を開始します。

3.3.4 設定

「Setting(設定)」ページで、言語を変更したり、サーバーの場所を選択したり、Windows 起動時に ASRock ライブ更新と APP ショップを自動的に実行するかどうかを決めることができます。



第4章 UEFI セットアップユーティリティ

4.1 はじめに

このセクションでは、UEFI セットアップ ユーティリティを使用して、システムを構成する方法を説明します。UEFI セットアップ ユーティリティは、コンピューターに電源を入れた直後に <F2> または <Del> を押すことによって起動できます。ユーティリティを起動しなければ、電源投入時セルフテスト (POST) が通常のテストを開始します。POST の後に UEFI セットアップ ユーティリティを開始するには、<Ctl> + <Alt> + <Delete> または本体のリセットボタンを押して、システムを再起動します。システムをシャットダウンした後、再度電源を入れても、ユーティリティを起動することができません。



UEFI ソフトウェアは、常に更新されているため、以下の設定画面および説明は参照のみを目的としており、実際の画面と必ずしも一致しない場合があります。

4.2 EZ Mode（EZ モード）

デフォルトでは、BIOS セットアッププログラムを開くと、「EZ Mode(EZ モード)」画面が表示されます。EZ モードはシステムの現在の状態のさまざまな読み取り値が表示されるダッシュボードです。CPU 速度、DRAM 周波数、SATA 情報、ファン速度など、システムの最も重要な情報を確認できます。

「Advanced Mode(アドバンスドモード)」に切り替えてその他のオプションを表示するには、<F6> を押すか、または、画面の右上隅にある [Advanced Mode(アドバンスドモード)] ボタンをクリックします。



4.3 Advanced Mode（アドバンスドモード）

Advanced Mode(アドバンスドモード)は BIOS 設定を設定するためのその他のオプションを提供します。詳しい設定については次のセクションを参照してください。

EZ モードにアクセスするには、<F6> を押すか、または、画面の右上隅にある [EZ Mode(EZ モード)] ボタンをクリックします。

4.3.1 UEFI メニューバー

画面上部には、以下が並んだメニューバーがあります：

Main (メイン)	システムの時間 / 日付情報の設定
OC Tweaker (OC 調整)	オーバークロック設定
Advanced (詳細設定)	システムの詳細設定
Tool (ツール)	便利なツール
H/W Monitor (H/W モニター)	現在のハードウェアステータスを表示
Security (セキュリティ)	セキュリティ設定
Boot (ブート)	ブート設定およびブートの優先順位の設定
Exit (終了)	現在の画面または UEFI セットアップ ユーティリティを終了

4.3.2 ナビゲーションキー

メニューバーで項目を選択する場合は、<←> キーまたは <→> キーを使用します。カーソルを上下に移動して項目を選択する場合は、<↑> キーまたは <↓> キーを使用します。次に <Enter> を押してサブ画面へ移動します。マウスでクリックして、必要なアイテムを選択することもできます。

各ナビゲーションキーの説明は、以下の表でご確認ください。

ナビゲーションキー	説明
+ / -	選択したアイテムのオプションを変更
<Tab>	次の機能に切替え
<PGUP>	前のページへ
<PGDN>	次のページへ
<HOME>	画面の最初へ
<END>	画面の最後へ
<F1>	一般的なヘルプ画面を表示
<F5>	お気に入りの追加 / 削除
<F7>	変更をキャンセルして、セットアップ ユーティリティを終了
<F9>	すべての設定で最適な既定値を読み込み
<F10>	変更を保存して、セットアップ ユーティリティを終了
<F12>	プリントスクリーン
<ESC>	終了画面へジャンプまたは現在の画面を終了

4.4 Main (メイン) 画面

UEFI セットアップ ユーティリティに入ると、メイン画面が現れ、システムの概要が表示されます。



My Favorite (お気に入り)

BIOS アイテムのコレクションを表示。「お気に入り」中のコレクションを追加 / 削除する場合は F5 を押してください。

4.5 OC Tweaker (OC 調整) 画面

OC 調整画面では、オーバークロック機能を設定できます。



UEFI ソフトウェアは、常に更新されているため、以下の設定画面および説明は参照のみを目的としており、実際の画面と必ずしも一致しない場合があります。

CPU Configuration (CPU 設定)

Boot Performance Mode (ブートパフォーマンスモード)

OS ハンドオフの前に BIOS が設定する CPU パフォーマンス状態を選択します。

[Max Battery(最大バッテリー)]

このモードを選択して、システム起動中の CPU レシオを 8 倍に設定します。

[Max Non-Turbo Performance(最大ノンターボ性能)]

このデフォルトモードを選択して、システム起動中に CPU Flex(CPU フレックス)レシオを維持します。

[Turbo Performance(ターボ性能)]

このモードでは、システム起動中に CPU レシオは 常にターボブースト速度で動作します。

FCLK Frequency (FCLK 周波数)

FCLK 周波数を設定します。

[400 MHz]

BCLK を 190 MHz を超えてオーバークロックしたい場合は、400 MHz が推奨値です。

[800 MHz]

デフォルト設定を選択します。

[1 GHz] FCLK Frequency(FCLK 周波数)を 1 GHz に設定します。

Intel SpeedStep Technology (Intel SpeedStep のテクノロジー)

Intel SpeedStep のテクノロジーにより、節電と放熱のために、プロセッサを複数の周波数および電圧ポイントで切り替え可能です。

[Enabled(有効)] この項目を選択して、Intel SpeedStep テクノロジー・サポートを有効にします。

[Disabled(無効)] この項目を選択して、Intel SpeedStep テクノロジー・サポートを無効にします。

Intel Turbo Boost Technology (インテル・ターボ・ブースト・テクノロジー)

インテル・ターボ・ブースト・テクノロジーにより、オペレーティングシステムが最高水準のパフォーマンスを要求するときに、プロセッサを基本動作周波数以上で実行可能です。

[Enabled(有効)] この項目を選択して、Intel ターボ・ブースト・テクノロジー・サポートを有効にします。

[Disabled(無効)] この項目を選択して、Intel ターボ・ブースト・テクノロジー・サポートを無効にします。

Intel Speed Shift Technology (インテル・スピード・シフト・テクノロジー)

[Enabled(有効)]

この項目を有効にして、システム応答性と電力効率性を向上させます。

*Intel スピード・シフト・テクノロジーに対応するのは Windows 10 上だけです。

[Disabled(無効)]

この項目を選択して、Intel スピード・シフト・テクノロジー・サポートを無効にします。

Long Duration Power Limit (長期間電力制限)

[Configure Package Power Limit 1] (パッケージの電力制限 1) をワット数で指定します。制限を超過すると、CPU レシオが徐々に下げられます。制限を低く設定することで、CPU が保護され、電力の消費が抑えられます。一方で制限を高く設定することで、パフォーマンスが向上します。

[Auto(自動)] この項目を選択して、デフォルト設定を適用します。

Long Duration Maintained (長期間維持)

[Long Duration Power Limit] (長期間電力制限) を超過したときに、CPU レシオの下げられるスピードを設定します。

[Auto(自動)] この項目を選択して、デフォルト設定を適用します。

Short Duration Power Limit (短期間電力制限)

[Configure Package Power Limit 2] (パッケージの電力制限 2) をワット数で指定します。制限を超過すると、CPU レシオがただちに下げられます。制限を低く設定することで、CPU が保護され、電力の消費が抑えられます。一方で制限を高く設定することで、パフォーマンスが向上します。

[Auto(自動)] この項目を選択して、デフォルト設定を適用します。

System Agent Current Limit (システムエージェント電流制限)

システムエージェントの電流制限を設定します。制限を低く設定することで、CPU が保護され、電力の消費が抑えられます。一方で制限を高く設定することで、パフォーマンスが向上します。

[Auto(自動)] この項目を選択して、デフォルト設定を適用します。

CPU Core Current Limit (CPU コア電流制限)

CPU コアの電流制限を設定します。制限を低く設定することで、CPU が保護され、電力の消費が抑えられます。一方で制限を高く設定することで、パフォーマンスが向上します。

[Auto(自動)] この項目を選択して、デフォルト設定を適用します。

GT Slice Current Limit (GT スライス電流制限)

GT スライスの電流制限を設定します。制限を低く設定することで、CPU が保護され、電力の消費が抑えられます。一方で制限を高く設定することで、パフォーマンスが向上します。

[Auto(自動)] この項目を選択して、デフォルト設定を適用します。

DRAM Configuration (DRAM 設定)

DRAM Tweaker (DRAM 調整)

チェックボックスをオン / オフすることにより、DRAM 設定を調整します。新しい設定を確認して適用するには、[OK] をクリックします。



メモリ
モジュール
情報

設定を保
存する

DRAM Timing Configuration (DRAM のタイミング設定)

DRAM Reference Clock (DRAM 基準クロック)

DRAM Reference Clock (DRAM 基準クロック) を設定します。

[Auto (自動)] この項目を選択して、設定を最適化します。

[100MHz] DRAM Reference Clock (DRAM 基準クロック) を 100 MHz に設定します。

[133MHz] DRAM Reference Clock (DRAM 基準クロック) を 133 MHz に設定します。

DRAM Frequency (DRAM 周波数)

[Auto] (自動) が選択されている場合、マザーボードは挿入されているメモリモジュールを検出し、適切な周波数を自動的に割り当てます。

Primary Timing (プライマリタイミング)

CAS# Latency (tCL) (CAS# レイテンシー (tCL))

コラムアドレスのメモリへの送信から、データが応答までの時間。

RAS# to CAS# Delay (RAS# から CAS# までの遅延) と Row Precharge (行プリチャージ) (tRCDtRP)

RAS# to CAS# Delay (RAS# から CAS# までの遅延): メモリの行を開いてから、そのうちの列へのアクセスまでに要するクロックサイクル数。

Row Precharge (行プリチャージ): プリチャージ コマンドを発行してから、次の行が開かれるまでに要するクロックサイクル数。

RAS# Active Time (tRAS) (RAS# アクティブ時間 (tRAS))

バンク アクティブ コマンドから、プリチャージ コマンドを発行するまでに要するクロックサイクル数。

Command Rate (CR) (コマンドレート (CR))

メモリチップが選択されてから、最初のアクティブ コマンドが発行されるまでの遅延。

Secondary Timing (セカンダリタイミング)

Write Recovery Time (tWR) (書き込み回復時間 (tWR))

有効な書き込み操作の完了後、アクティブなバンクがプリチャージされるまでに必要な遅延量。

Refresh Cycle Time (tRFC) (リフレッシュ サイクル時間 (tRFC))

リフレッシュ コマンドから、同じバンクへの最初のアクティブ コマンドまでのクロック数。

RAS to RAS Delay (tRRD_L) (RAS から RAS までの遅延 (tRRD_L))

同じバンクの異なるバンクで有効化された 2 つの行の間のクロック数。

RAS to RAS Delay (tRRD_S) (RAS から RAS までの遅延 (tRRD_S))

同じバンクの異なるバンクで有効化された 2 つの行の間のクロック数。

Write to Read Delay (tWTR_L)

(書き込みから読み取りまでの遅延 (tWTR_L))

最後の有効な書き込み操作から、同じ内部バンクへの次の読み取りコマンドまでのクロック数。

Write to Read Delay (tWTR_S)

(書き込みから読み取りまでの遅延 (tWTR_S))

最後の有効な書き込み操作から、同じ内部バンクへの次の読み取りコマンドまでのクロック数。

Read to Precharge (tRTP) (読み取りからプリチャージまで (tRTP))

読み取りコマンドから、同じランクへの行のプリチャージ コマンドまでに挿入されたクロック数。

Four Activate Window (tFAW)

(4 つのアクティベート ウィンドウ (tFAW))

1 つのランクに 4 つのアクティベートが可能な時間ウィンドウ。

CAS Write Latency (tCWL) (CAS 書き込みレイテンシー (tCWL))

CAS 書き込みレイテンシーを設定します。

Third Timing (3 番目のタイミング)

tREFI

平均周期の間隔でリフレッシュ サイクルを設定します。

tCKE

DDR4 がリフレッシュモードに入ってから、内部で少なくとも 1 つのリフレッシュコマンドを開始する間隔を設定します。

tRDRD_sg

モジュールの読み取りから読み取りの遅延を設定します。

tRDRD_dg

モジュールの読み取りから読み取りの遅延を設定します。

tRDRD_dr

モジュールの読み取りから読み取りの遅延を設定します。

tRDRD_dd

モジュールの読み取りから読み取りの遅延を設定します。

tRDWR_sg

モジュールの読み取りから書き込みの遅延を設定します。

tRDWR_dg

モジュールの読み取りから書き込みの遅延を設定します。

tRDWR_dr

モジュールの読み取りから書き込みの遅延を設定します。

tRDWR_dd

モジュールの読み取りから書き込みの遅延を設定します。

tWRRD_sg

モジュールの書き込みから読み取りの遅延を設定します。

tWRRD_dg

モジュールの書き込みから読み取りの遅延を設定します。

tWRRD_dr

モジュールの書き込みから読み取りの遅延を設定します。

tWRRD_dd

モジュールの書き込みから読み取りの遅延を設定します。

tWRWR_sg

モジュールの書き込みから書き込みの遅延を設定します。

tWRWR_dg

モジュールの書き込みから書き込みの遅延を設定します。

tWRWR_dr

モジュールの書き込みから書き込みの遅延を設定します。

tWRWR_dd

モジュールの書き込みから書き込みの遅延を設定します。

Advanced Setting (詳細設定)**MRC Fast Boot (MRC 高速ブート)**

有効にすると、DRAM メモリトレーニングをスキップし、起動が速くなります。

Voltage Configuration (電圧設定)**CPU Vcore Voltage (CPU Vcore 電圧)**

外部電圧レギュレータでプロセッサ用の入力電圧を設定します。

[Auto(自動)]

この項目を選択して、デフォルトの CPU Vcore 電圧設定を適用します。

[Offset Mode(オフセットモード)]

このモードで CPU Vcore 電圧オフセット値を設定できます。

[Fixed Mode(固定モード)]

このモードで固定 CPU Vcore 電圧値を設定できます。

CPU Load-Line Calibration (CPU ロードライン キャリブレーション)

システムの負荷が大きいときに、CPU の電圧垂下を防ぐのを助けます。

設定オプション : [Auto(自動)] [Level1(レベル 1)]-[Level4(レベル 4)]

GT Voltage (GT 電圧)

統合 GPU の電圧を設定します。

[Auto(自動)]

この項目を選択して、デフォルトの GT 電圧設定を適用します。

[Offset Mode(オフセットモード)]

このモードで GT 電圧オフセット値を設定できます。

[Fixed Mode(固定モード)]

このモードで固定 GT 電圧値を設定できます。

GT Load-Line Calibration (GT ロードライン・キャリブレーション)

GT ロードライン・キャリブレーションは、システムの負荷が高くなった場合に、内蔵 GPU 電圧が降下することを防止します。

設定オプション : [Auto(自動)] [Level1(レベル 1)]-[Level4(レベル 4)]

DRAM Voltage (DRAM 電圧)

DRAM 電圧を設定します。デフォルトでは [Auto(自動)] です。

[Auto(自動)] この項目を選択して、デフォルト設定を適用します。

PCH +1.0 Voltage (PCH +1.0 電圧)

チップセット電圧を設定します (1.0V)。

[Auto(自動)] この項目を選択して、デフォルト設定を適用します。

VCCIO Voltage (VCCIO 電圧)

VCCIO の電圧を設定します。

[Auto(自動)] この項目を選択して、デフォルト設定を適用します。

VCCST Voltage (VCCST 電圧)

VCCST の電圧を設定します。

[Auto(自動)] この項目を選択して、デフォルト設定を適用します。

VCCSA Voltage (VCCSA 電圧)

VCCSA の電圧を設定します。

[Auto(自動)] この項目を選択して、デフォルト設定を適用します。

Save User Default (ユーザー定義の保存)

設定をユーザー定義として保存するには、プロファイル名を入力し、<Enter> を押します。

Load User Default (ユーザー定義の読み込み)

前回保存したユーザー定義を読み込みます。

Save User UEFI Setup Profile to Disk (ユーザー UEFI セットアップポートフォリオをディスクに保存)

現在の UEFI 設定をユーザープロファイルとしてディスクに保存できます

Load User UEFI Setup Profile from Disk (ユーザー UEFI セットアップポートフォリオをディスクから読み込む)

また、前に保存したプロファイルをディスクから読み込むこともできます

4.6 Advanced (詳細) 画面

このセクションでは、以下のアイテムの設定ができます：CPU Configuration (CPU 設定)、Chipset Configuration (チップセット設定)、Storage Configuration (ストレージ設定)、Intel® Thunderbolt, Super IO Configuration (スーパード IO 設定)、ACPI Configuration (ACPI 設定)、USB Configuration (USB 設定)、Trusted Computing (トラステッド・コンピューティング)。



このセクションで誤った値を設定すると、システムの誤作動の原因になることがあります。

UEFI Configuration (UEFI 設定)

UEFI Setup Style (UEFI セットアップスタイル)

UEFI セットアップ ユーティリティに入ったときのデフォルトモードを選択します。

Active Page on Entry (開始時のアクティブページ)

UEFI セットアップ ユーティリティに入ったときのデフォルトページを選択します。

Full HD UEFI (フル HD UEFI)

「Auto(自動)」を選択すると解像度は 1920 x 1080 に設定されます。(ご使用のモニターがフル HD に対応している場合) もしモニターがフル HD 非対応であれば、解像度は 1024 x 768 に設定されます。「Disable(無効)」に設定すると、モニタの解像度は 1024 x 768 に設定されます。

4.6.1 CPU Configuration (CPU 設定)



Active Processor Cores (アクティブプロセッサコア)

各プロセッサ パッケージで有効にするコアの数を選択します。

設定オプション: [All(すべて)] [1] [2] [3]

CPU C States Support (CPU の C ステートの有効化)

CPU の C ステートを有効にすると、電力消費が削減されます。C3、C6、および C7 を維持することをお勧めします。いずれも電力消費を最適に削減します。

Enhanced Halt State (C1E) (強化停止状態 (C1E))

電力消費を抑えます。

CPU C3 State Support (CPU の C3 ステートの有効化)

スリープさせ、電力消費を抑えます。

CPU C6 State Support (CPU の C6 ステートの有効化)

ディープスリープさせ、電力消費を抑えます。

CPU C7 State Support (CPU の C7 ステートの有効化)

ディープスリープさせ、電力消費を抑えます。

Package C State Support (パッケージの C ステートの有効化)

CPU、PCIe、メモリ、グラフィックの C ステートサポートを有効にすると、電力消費が削減されます。

CFG Lock (CFG ロック)

次にリセットされるまで現在の c ステートをロックします。この項目を [Disabled(無効)] に設定することを推奨します。

CPU Thermal Throttling (CPU サーマル スロットリング)

CPU を過熱から保護するために、CPU 内部の熱制御メカニズムを有効にします。

Intel Virtualization Technology (Intel Virtualization テクノロジー)

Intel Virtualization のテクノロジーにより、プラットフォームに複数のオペレーティングシステムやアプリケーションを独立したパーティションで実行し、単一のコンピュータシステムを複数のバーチャルシステムとして機能させることができます。

[Enabled(有効)]

この項目を選択して、Intel パーチャライゼーション・テクノロジー・サポートを有効にします。

[Disabled(無効)]

この項目を選択して、Intel パーチャライゼーション・テクノロジー・サポートを無効にします。

Hardware Prefetcher (ハードウェア プリフェッチャー)

プロセッサにデータとコードを自動的にプリフェッチし、パフォーマンスを向上します。

Adjacent Cache Line Prefetch (隣接するキャッシュラインのプリフェッチ)

現在要求されたキャッシュラインを取得しながら、後続のキャッシュラインを自動的にプリフェッチし、パフォーマンスを向上します。

SW Guard Extensions (ソフトウェア・ガードエクステンション) (SGX)

Intel SGX はアプリケーションでを使用してコードとデータのプライベート領域を隔離できる新しい CPU 命令セットです。

[Enabled(有効)]

この項目を選択して、システム上で Intel SGX サポートを有効にして、この機能をアプリケーションでできるようにします。

[Disabled(無効)]

この項目を選択して、Intel SGX サポートを無効にします。

[Software Controlled(ソフトウェア制御)]

この項目を選択すると、ソフトウェアアプリケーションで Intel SGX を有効にできます。

4.6.2 Chipset Configuration (チップセット設定)



Primary Graphics Adapter (プライマリ グラフィック アダプター)

プライマリ VGA を選択します。

[Onboard(オンボード)]

この項目を選択して、オンボードグラフィックスをブート時に優先される画面出力ポートとして設定します。

[PCI Express]

この項目を選択して、PCI Express をブート時に優先される画面出力ポートとして設定します。

Top Of Lower Usable Dram (トップ・オブ・ロウアー・ユーザブル Dram)

TOLUD の最大値。動的割り当てが、インストールしたグラフィックコントローラの最大 MMIO 長さに基づいて TOLUD(トップ・オブ・ロウアー・ユーザブル DRAM) を自動的に調整します。

設定オプション: [Dynamic(ダイナミック)] [1 GB] [2.5 GB] [3.5 GB]

VT-d

I/O の仮想化を支援する Intel® Virtualization Technology for Directed I/O (VT-d) は、アプリケーションの互換性や信頼性を向上し、また管理性、セキュリティ、分離、および I/O 性能のレベルを高めることにより、バーチャルマシンモニターのハードウェアのさらなる活用を助けます。

[Enabled(有効)] この項目を選択して、Intel VT-d サポートを有効にします。

[Disabled(無効)] この項目を選択して、Intel VT-d サポートを無効にします。

PCIE1 Link Speed (PCIE1 リンク速度)

PCIE1 のリンク速度を選択します。

PCIE2 Link Speed (PCIE2 リンク速度)

PCIE2 のリンク速度を選択します。

PCIE3 Link Speed (PCIE3 リンク速度)

PCIE3 のリンク速度を選択します。

PCIE4 Link Speed (PCIE4 リンクスピード)

PCIE4 のリンク速度を選択します。

PCIE5 Link Speed (PCIE5 リンクスピード)

PCIE5 のリンク速度を選択します。

PCI Express Native Control (PCI Express ネイティブコントロール)

[Enabled(有効)] この項目を選択して、OS 内で PCI Express 節電を強化します。

[Disabled(無効)] この項目を選択して、PCI Express 互換性を改善します。

PCIE ASPM Support (PCIE ASPM サポート)

このオプションですべての CPU ダウンストリームデバイスの ASPM サポートを有効 / 無効にします。

PCH PCIE ASPM Support (PCH PCIE ASPM サポート)

このオプションですべての PCH PCIE デバイスの ASPM サポートを有効 / 無効にします。

DMI ASPM Support (DMI ASPM サポート)

このオプションで DMI リンクの CPU 側にある ASPM の制御を有効 / 無効にします。

PCH DMI ASPM Support (PCH DMI ASPM サポート)

このオプションですべての PCH DMI デバイスの ASPM サポートを有効 / 無効にします。

IOAPIC 24-119 Entries (IOAPIC 24-119 エントリ)

I/O APIC にはリダイレクション・テーブルが含まれています。このテーブルを使用して、周辺バスから受信する割り込みを 1 つまたは複数のローカル APIC に転送します。IOAPIC 24-119 Entries (IOAPIC 24-119 エントリ) を有効 / 無効にして PIROI-PIROX に拡張します。

Share Memory (共有メモリ)

システムが起動したときに統合グラフィックス プロセッサに割り当てるメモリのサイズを設定します。

IGPU Multi-Monitor (IGPU マルチモニター)

外付けグラフィックスカードを取り付けた場合に、[Disabled (無効)] を選択して統合グラフィックスを無効にします。有効にすると、内蔵のグラフィックスを有効のまま保ちます。

Onboard LAN (内蔵 LAN)

オンボードネットワークインターフェースコントローラ(Intel® I219V)を有効または無効にします。

Onboard HD Audio (内蔵 HD オーディオ)

内蔵の HD オーディオをオン / オフします。[Auto] (自動) に設定すると、内蔵の HD オーディオは有効化され、サウンドカードがインストールされたときにのみ自動的に無効にされます。

Front Panel (フロントパネル)

フロントパネルの HD オーディオをオン / オフします。

Onboard HDMI HD Audio (内蔵 HDMI HD オーディオ)

オーディオのデジタル出力が可能になります。

WAN Radio (WAN ラジオ)

WiFi モジュールの接続を有効または無効にします。

Deep Sleep (デイプスリープ)

コンピューターがシャットダウンされたときの節電を目的としたディープスリープを設定します。

Restore on AC/Power Loss (AC/ 電源損失で復元)

停電後の電力状態を選択します。

[Power Off(電源オフ)]

この項目を選択すると、電力が回復しても電源はオフのままになります。

[Power On(電源オン)]

この項目を選択すると、電力が回復するとシステムが起動し始めます。

4.6.3 Storage Configuration (ストレージ設定)



SATA Controller(s) (SATA コントローラー)

SATA コントローラーを有効 / 無効にします。

SATA Controller Speed (SATA コントローラスピード)

SATA コントローラが対応できる最大速度が表示されます。

SATA Mode Selection (SATA モード選択)

[AHCI] 性能を向上させる新しい機能に対応します。

[RAID] 複数のディスクドライブを論理ユニットに組み合わせます。

SATA Aggressive Link Power Management (SATA リンク 電源積極管理)

これにより、非アクティブのときに SATA デバイスが低電力状態に入り、電力消費を削減します。AHCI モードでのみサポートされます。

Hard Disk S.M.A.R.T. (ハードディスク S.M.A.R.T.)

「S.M.A.R.T.」は、Self-Monitoring (セルフモニタリング)、Analysis (分析)、Reporting (報告)、Technology (テクノロジー) を表します。コンピュータのハードディスクドライブの監視システムであり、信頼性に関するさまざまな指標を検知して報告します。

4.6.4 Intel® Thunderbolt



Intel(R) Thunderbolt Technonogy (Intel(R) Thunderbolt テクノロジー)

Intel(R) Thunderbolt 機能を有効 / 無効にします。

Security Level (セキュリティレベル)

Thunderbolt ポートのセキュリティレベルを選択できます。

[No Security(セキュリティなし)]

ユーザーの許可なくどんなデバイスでもシステムに接続できます。

[User Authorization(ユーザー認可)]

ユーザーの許可があればどんなデバイスでもシステムに接続できます。

[Secure Connect(セキュアコネクト)]

デバイスにセキュリティ証明書またはチップが含まれる場合は、ユーザーの許可があればどんなデバイスでもシステムに接続できます。

[Display Port only(ディスプレイポートのみ)]

デバイスをシステムに接続できません。DisplayPort 機能だけです。

4.6.5 Super IO Configuration (スーパー IO 設定)



Serial Port (シリアルポート)

シリアルポートを有効 / 無効にします。

Serial Port Address (シリアルポート アドレス)

シリアルポートのアドレスを選択します。

設定オプション : [3F8h/IRQ4] [3E8h/IRQ4]。

PS2 Y-Cable (PS2 Y ケーブル)

PS2 Y ケーブルを有効にするか、または、このオプションを Auto(自動)に設定します。

4.6.6 ACPI Configuration (ACPI 設定)



Suspend to RAM (RAM へのサスペンド)

無効にすると、ACPI サスペンドタイプは S1 に設定されます。[Auto] (自動) として電力消費の少ない ACPI S3 を選択することをお勧めします。

ACPI HEPT Table (ACPI HEPT 表)

パフォーマンスを優先される場合、高精度イベントタイマーを有効にしてください。

PS/2 Keyboard Power On (PS/2 キーボードによる電源オン)

PS/2 キーボード上のいずれかのキーを押す事でシステムを起動できます。

[Disabled (無効)]

この項目を選択して、PS/2 Keyboard Power On (PS/2 キーボード電源オン) 機能を無効にします。

[Any Key (いずれかのキー)]

この項目を選択すると、PS/2 キーボード上のいずれかのキーをクリックしてシステムを再起動できます。

PCIe Devices Power On (PCIe デバイス電源オン)

PCIe デバイスでシステムをウェイクアップできます。また、LAN 上でのウェイクアップを有効にできます。

Ring-In Power On (RI による電源オン)

内蔵の COM ポートモデムの RI 入力信号でシステムを起動できるようになります。

RTC Alarm Power On (RTC アラームによる電源オン)

リアルタイムクロックのアラームでシステムを起動できるようになります。

[Disabled(無効)] この項目を選択して、RTC Alarm Power On(RTC アラーム電源オン)機能を無効にします。

[Enabled(有効)] この項目を選択して、RTC Alarm Power On(RTC アラーム電源オン)機能を有効にします。

[By OS(OS で)] この項目を選択して、オペレーティングシステムで取り扱うようにします。

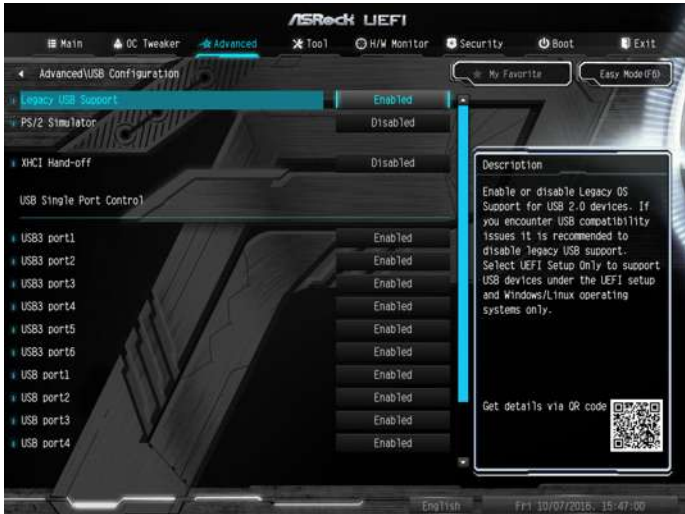
USB Keyboard/Remote Power On (USB キーボード / リモコンによる電源オン)

USB キーボードまたはリモコンでシステムを起動できるようになります。

USB Mouse Power On (USB マウスによる電源オン)

USB マウスでシステムを起動できるようになります。

4.6.7 USB Configuration (USB 設定)



Legacy USB Support (レガシー USB の有効化)

USB 2.0 デバイスのレガシー OS のサポートを有効 / 無効にします。USB の互換性に関する問題が発生した場合は、レガシー USB を無効にすることをお勧めします。

[Enabled(有効)] この項目を選択して、USB デバイスの Legacy OS(レガシー OS)サポートを有効にします。

[Disabled(無効)] この項目を選択して、USB デバイスの Legacy OS(レガシー OS)サポートを無効にします。

[UEFI Setup Only(UEFI セットアップのみ)] この項目を選択して、UEFI セットアップおよび Windows/Linux オペレーティングシステムでのみ USB デバイスに対応するようにします。

PS/2 Simulator (PS/2 シミュレータ)

PS/2 シミュレータを有効にします。これは USB 非対応 OS 向けの完全 USB キーボードレガシーサポート用に有効にします。

*Windows 7 をインストールする場合はこのオプションを有効にします。

XHCI Hand-off (XHCI ハンドオフ)

これは XHCI ハンドオフ機能に対応していない OS(オペレーティングシステム)向けの応急措置です。XHCI オーナーシップの変更は XHCI ドライバで請求します。デフォルトではこの項目は [Disabled(無効)] に設定されています。

[Enabled(有効)]

XHCI に対応しないオペレーティングシステムでは BIOS で XHCI に対応します。

[Disabled(無効)]

XHCI に対応するオペレーティングシステムでは XHCI ドライバで XHCI に対応します。

4.6.8 Trusted Computing (トラステッド・コンピューティング)



Security Device Support (セキュリティ デバイス サポート)

セキュリティデバイスの BIOS サポートを有効または無効にします。

4.7 Tools (ツール)



System Browser (システム ブラウザー)

ASRock System Browser は、現在の PC と接続されたデバイスの概要を表示します。

UEFI Tech Service (UEFI テクニカルサービス)

お使いの PC で問題が発生した場合は、ASRock のテクニカルサービスにお問い合わせください。[UEFI Tech Service] (UEFI テクニカルサービス) を利用するには、まずネットワークの設定をする必要があります。

Easy RAID Installer (簡単 RAID インストーラー)

該当する CD から USB ストレージデバイスへの RAID ドライバーのコピーが簡単にできます。ドライバーをコピーしたら、モードを SATA から RAID へ変更すると、RAID モードでのオペレーティングシステムのインストールが開始できます。

Boot Manager（ブートマネージャ）

Boot Manager(ブートマネージャ)はデュアル OS プラット/マルチ OS プラットフォームユーザーがブートメニューを簡単にカスタマイズして管理できるように特別設計されています。

* このツールを使用するために、1 台以上のブートデバイスを接続してください。



Boot Manager（ブートマネージャ）

ブートマネージャを有効 / 無効にします。

Boot Manager Timeout（ブートマネージャタイムアウト）

ブートマネージャタイムアウトを有効 / 無効にします。

Timeout Seconds（タイムアウトまでの秒数）

ブートマネージャを待つ秒数を設定します。

Instant Flash（インスタントフラッシュ）

UEFI ファイルを USB ストレージ デバイスに保存し、[Instant Flash（インスタントフラッシュ）] を実行すると、UEFI が更新されます。

Internet Flash（インターネットフラッシュ）- DHCP（自動 IP）、AUTO（自動）

ASRock の [Internet Flash]（インターネットフラッシュ）は、サーバーから最新の UEFI ファームウェアをダウンロードして更新します。[Internet Flash]（インターネットフラッシュ）を利用するには、まずネットワークの設定をする必要があります。

* BIOS のバックアップとリカバリー用に、この機能を使用する前に、USB メモリーを差し込むことをお勧めします。

Network Configuration (ネットワーク設定)

[Internet Flash] (インターネットフラッシュ) で必要なインターネット接続を設定します。



Internet Setting (インターネット設定)

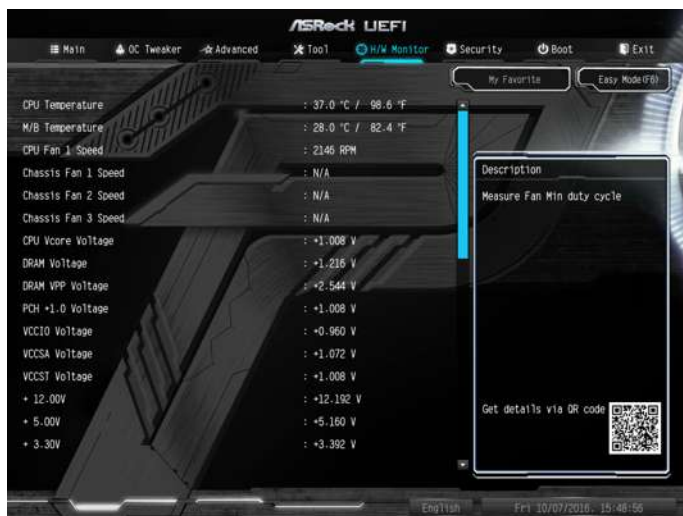
セットアップユーティリティでのサウンドエフェクトをオン / オフします。

UEFI Download Server (UEFI ダウンロード サーバー)

UEFI ファームウェアをダウンロードするサーバーを選択します。

4.8 Hardware Health Event Monitoring (ハードウェアヘルスイベント監視) 画面

このセクションでは、CPU 温度、マザーボード温度、ファン速度、および電圧などのパラメーターを含め、システムのハードウェアのステータスを監視できます。



Fan Tuning (ファン・チューニング)

チューニング処理を実行して、ファンの最小デューティサイクルを自動検出します。

Fan-Tastic Tuning (ファン調整)

グラフを使用して、最大 5 種類のファン速度が設定できます。割当てられた温度に達すると、ファンは次の速度レベルへと自動的にシフトします。

ファンモードを選択するか、または、プロファイルのカスタマイズします。

CPU Fan 1 Setting (CPU ファン 1 設定)

CPU ファン 1 のファンモードを選択します。または [Customize (カスタマイズ)] を選択すると、5 つの CPU 温度を設定し、各温度に対してそれぞれファン速度を割当てることができます。

設定オプション:

[Customize(カスタマイズ)] [Silent Mode(サイレントモード)] [Standard Mode(標準モード)] [Performance Mode(性能モード)] [Full Speed(最高速度)]

CPU Fan Step Up (CPU ファンステップアップ)

CPU Fan Step Up(CPU ファンステップアップ)の値を設定します。デフォルト設定は [0 Sec (0 秒)] です。

CPU Fan Step Down (CPU ファンステップダウン)

CPU Fan Step Down(CPU ファンステップダウン)の値を設定します。デフォルト設定は [0 Sec(0 秒)] です。

Chassis Fan 1 Setting (シャーシファン 1 設定)

シャーシファン 1 のファンモードを選択します。または [Customize (カスタマイズ)] を選択すると、5 つの CPU 温度を設定し、各温度に対してそれぞれファン速度を割当てることができます。

[Customize(カスタマイズ)] [Silent Mode(サイレントモード)] [Standard Mode(標準モード)] [Performance Mode(性能モード)] [Full Speed(最高速度)]

Chassis Fan 1 Temp Source (シャーシファン 1 温度ソース)

シャーシファン 1 の温度の測定対象を選択します。

[Monitor CPU(CPU を監視する)] この項目を選択して、CPU を温度の測定対象として設定します。

[Monitor M/B(マザーボードを監視する)] この項目を選択して、マザーボードを温度の測定対象として設定します。

Chassis Fan 1 Step Up (シャーシファン 1 ステップアップ)

Chassis Fan 1 Step Up(シャーシファン 1 ステップアップ)の値を設定します。デフォルト設定は [0 Sec(0 秒)] です。

Chassis Fan 1 Step Down (シャーシファン 1 ステップダウン)

Chassis Fan 1 Step Down(シャーシファン 1 ステップダウン)の値を設定します。デフォルト設定は [0 Sec(0 秒)] です。

Chassis Fan 2 Setting (シャーシファン 2 設定)

シャーシファン 2 のファンモードを選択します。または [Customize (カスタマイズ)] を選択すると、5 つの CPU 温度を設定し、各温度に対してそれぞれファン速度を割り当てることができます。

[Customize(カスタマイズ)] [Silent Mode(サイレントモード)] [Standard Mode(標準モード)] [Performance Mode(性能モード)] [Full Speed(最高速度)]

Chassis Fan 2 Temp Source (シャーシファン 2 温度ソース)

シャーシファン 2 の温度の測定対象を選択します。

[Monitor CPU(CPU を監視する)] この項目を選択して、CPU を温度の測定対象として設定します。

[Monitor M/B (マザーボードを監視する)] この項目を選択して、マザーボードを温度の測定対象として設定します。

Chassis Fan 2 Step Up (シャーシファン 2 ステップアップ)

Chassis Fan 2 Step Up(シャーシファン 2 ステップアップ)の値を設定します。デフォルト設定は [0 Sec(0 秒)] です。

Chassis Fan 2 Step Down (シャーシファン 2 ステップダウン)

Chassis Fan 2 Step Down(シャーシファン 2 ステップダウン)の値を設定します。デフォルト設定は [0 Sec(0 秒)] です。

CHA_FAN3 / W_Pump Switch (ポンプ切り替え)

CHA_FAN3/CPU オプションモードまたはウォーターポンプモードを選択します。

Chassis Fan 3 Control Mode (シャーシファン 3 制御モード)

シャーシファン 3 の PWM モードまたは DC モードを選択します。

[DC Mode(DC モード)] 3 ピンファンの場合はこのモードを選択します。

[PWM Mode(PWM モード)] 4 ピンファンの場合はこのモードを選択します。

Chassis Fan 3 Setting (シャーシファン 3 設定)

シャーシファン 3 のファンモードを選択します。または [Customize (カスタマイズ)] を選択すると、5 つの CPU 温度を設定し、各温度に対してそれぞれファン速度を割当てることができます。

[Customize(カスタマイズ)] [Silent Mode(サイレントモード)] [Standard Mode(標準モード)] [Performance Mode(性能モード)] [Full Speed(最高速度)]

Chassis Fan 3 Temp Source (シャーシファン 3 温度ソース)

シャーシファン 3 の温度の測定対象を選択します。

[Monitor CPU(CPU を監視する)] この項目を選択して、CPU を温度の測定対象として設定します。

[Monitor M/B (マザーボードを監視する)] この項目を選択して、マザーボードを温度の測定対象として設定します。

Over Temperature Protection (過熱保護)

有効にすると、マザーボードが過熱したとき、システムは自動的にシャットダウンします。

Case Open Feature (ケースの開閉検知機能)

有効 / 無効が選択可能。有効にするとケースカバーが取り外されていないかを検知します。

4.9 Security (セキュリティ) 画面

このセクションでは、システムのスーパーバイザーまたはユーザーのパスワードを設定および変更できます。ユーザー パスワードを消去することもできます。



Supervisor Password (スーパーバイザー パスワード)

管理者アカウントのパスワードを設定または変更します。管理者のみに、UEFI セットアップ ユーティリティの設定を変更する権限があります。パスワードを消去するには、空欄にして <Enter> を押します。

User Password (ユーザー パスワード)

ユーザー アカウントのパスワードを設定または変更します。ユーザーは、UEFI セットアップ ユーティリティの設定を変更することはできません。パスワードを消去するには、空欄にして <Enter> を押します。

Secure Boot (セキュア ブート)

この項目を使って Windows 8.1 セキュアブートへのサポートを有効 / 無効にします。

Intel(R) Platform Trust Technology (Intel(R) プラットフォーム・トラスト・テクノロジー)

ME で Intel PTT を有効 / 無効にします。ディスクリット型 TPM モジュールを使用する場合はこのオプションを無効にします。

4.10 Boot (ブート) 画面

このセクションは、ブートおよびブート優先順位の設定ができる、システム上のデバイスを表示します。



Boot From Onboard LAN (内蔵 LAN からのブート)

内蔵の LAN でシステムを起動できるようになります。

Setup Prompt Timeout (設定プロンプトのタイムアウト)

ホットキー設定のための待機時間を秒数で指定します。

Bootup Num-Lock (起動時の数値ロック)

起動時にテンキーに数値ロックをかけるかを選択します。

Boot Beep (ブート ビープ音)

起動時にビープ音をならすかを選択します。ブザーが必要になります。

Full Screen Logo (全画面ロゴ)

有効にすると、ブートロゴが表示され、無効にすると通常の POST メッセージが表示されます。

AddOn ROM Display (アドオン ROM 表示)

有効にすると、アドオン ROM メッセージが表示されます。また [Full Screen Logo (全画面ロゴ)] が有効の場合は、アドオン ROM の設定もできます。ブート速度を重視する場合は、無効にします。

Boot Failure Guard Message (ブートフェイラーガードメッセージ)

コンピューターが何度もブートに失敗すると、システムがデフォルトの設定を自動的に復元します。

CSM: Compatibility Support Module (CSM : 互換性サポート モジュール)



CSM

[Compatibility Support Module (互換性サポートモジュール)] を起動します。WHCK テストを実行している場合以外は、無効にしないでください。なお、Windows 8.1 64-ビットをお使いで、すべてのデバイスが UEFI に対応している場合は、CSM を無効にすることでブート時間を高速化できます。

Launch PXE OpROM Policy (PXE OpROM ポリシーの起動)

[UEFI only(UEFI のみ)] この項目を選択して、UEFI オプション ROM に対応するものだけを実行します。

[Legacy only(レガシーのみ)] この項目を選択して、レガシーオプション ROM に対応するものだけを実行します。

[Do not launch(開始しない)] この項目を選択して、レガシーオプション ROM と UEFI オプション ROM の両方を実行しないようにします。

Launch Storage OpROM Policy (ストレージ OpROM ポリシーの起動)

[UEFI only(UEFI のみ)] この項目を選択して、UEFI オプション ROM に対応するものだけを実行します。

[Legacy only(レガシーのみ)] この項目を選択して、レガシーオプション ROM に対応するものだけを実行します。

[Do not launch(開始しない)] この項目を選択して、レガシーオプション ROM と UEFI オプション ROM の両方を実行しないようにします。

Launch Video OpROM Policy (ビデオ OpROM ポリシーの起動)

[UEFI only(UEFI のみ)] この項目を選択して、UEFI オプション ROM に対応するものだけを実行します。

[Legacy only(レガシーのみ)] この項目を選択して、レガシーオプション ROM に対応するものだけを実行します。

[Do not launch(開始しない)] この項目を選択して、レガシーオプション ROM と UEFI オプション ROM の両方を実行しないようにします。

4.11 Exit (終了) 画面



Save Changes and Exit (変更を保存して終了)

このオプションを選択すると、「Save configuration changes and exit setup? (設定の変更を保存して設定を終了しますか?)」というメッセージが表示されます。変更を保存して UEFI セットアップ ユーティリティを終了するには、[OK] を選択します。

Discard Changes and Exit (変更を保存しないで終了)

このオプションを選択すると、「Discard changes and exit setup? (設定の変更を保存しないで終了しますか?)」というメッセージが表示されます。変更を保存することなく、UEFI セットアップ ユーティリティを終了するには、[OK] を選択します。

Discard Changes (変更を破棄)

このオプションを選択すると「Discard changes? (変更を破棄しますか?)」というメッセージが表示されます。すべての変更を破棄するには、[OK] を選択します。

Load UEFI Defaults (UEFI デフォルトの読み込み)

すべてのオプションで既定値を読み込みます。この操作には <F9> キーをショートカットとして使用できます。

Launch EFI Shell from filesystem device (ファイルシステム デバイスから EFI シェルを起動)

ルート ディレクトリへ shellx64.efi をコピーして、EFI シェルを起動します。

連絡先情報

ASRock に連絡する必要がある場合、または、ASRock に関する詳細情報をお知りになりたい場合は、ASRock のウェブサイト <http://www.asrock.com> をご覧になるか、または、詳細情報について弊社取扱店までお問い合わせください。技術的なご質問がある場合は、<http://www.asrock.com/support/tsd.asp> でサポートリクエスト用紙を提出してください。

ASRock Incorporation

2F., No.37, Sec. 2, Jhongyang S. Rd., Beitou District,

Taipei City 112, Taiwan (R.O.C.)

ASRock EUROPE B.V.

Bijsterhuizen 11-11

6546 AR Nijmegen

オランダ

電話: +31-24-345-44-33

ファックス: +31-24-345-44-38

ASRock America, Inc.

13848 Magnolia Ave, Chino, CA91710

U.S.A.

電話: +1-909-590-8308

ファックス: +1-909-590-1026